名所栞

五

内閣文庫
和書
類 三六六六六
號 一一
冊 二〇二
函 五
架

内閣文庫

番號	和 36666	
冊數	11 (5)	
函號	202	131

裏面記載のない箇所は省略

国立公文書館
National Archives of Japan

名所栞巻之五

村上忠順 著

依遠堂

○海

生田海　津国菟原郡

山　野　杜　池　川　浦　磯　里

おくまてはくくのあのくらひもあるーもろひぐくくとくとくとなるもむ　弁乳母

伊勢海　伊勢

霞　春雨　帰雁　青雨　蛍　萩　雁　月　霧　紅葉　落葉　雪

冬月　松　雀　魚　貝　鰒　櫻貝　忘貝　みる貝　くらゝ貝　濱荻　玉

みるめ　塩竈　汐木　草　濱ゆふ　三角柏　漁火　藻汐火　蛍　釣舟　網

細石　浮　中道　清渚　入江　磯　汀　島　流江　安濃松原　汐焼衣

後拾遺　つせのあまはまくてもあるかなくこの縄のなくまくこそ絶ゆなくまくこそ絶ゆはくるくるまくてもくる　不知

千載 いそうらをかくこそなれいせのあまはほすかくるほまのまて舟　俊忠

勅 万三 伊勢のあのゆつをなみ節をまちてみて味らいへつるせ舟　安貴王

現六 いせはあやしほもうるあるあの浦人のほさ〻舟八絡よいろし　知家

夫木十三 いをのあきさきなきさらあるそみやうつをよ小見ひろハ舟　師光

伊豆海　伊豆

霞　笠　月　霰　雲　崎　沖

万五 いろのあるよるもをこのほりてもつぎなむものと乱もしめや　不知

いりのあやあきうはちの釣るきよ遠浪きそて立うをみう邪　為道

石見海　石見

みる　辛崎　角浦　浮　高角山

万二 いをみのをたうつぬ山のうをうよう我ふるをとをいをろ〻舟う　人麻呂

万二 いを〻のあつあのを〻四を浦ふを〻人をを〻めかをと人をを〻みあ　仝

稲見海　播磨

月　鴨　野　河　島　浦

万三 なを〻ハ〻きいなを〻のあのちきうをみちてうをうぬやまをし母ハ　人麻呂

夫十三 をわをるいるみのあよ舟やてれををりハやををしまをあ　中務卿みこ

濱名海　遠江

名寄 未詳 をを〻をを〻ををのあよ立てうををみ陸もちきうのをう　雅経

蓮海　加賀

家集 をををあ〻ほをちをのあよを〻舟のおろこ巣ををほををほけて　保憲女

羽咋海　能登羽咋郡

万十七 をうをちかを〻たをををををひの西れなきををう舟をちもを　家持

西海　薩摩

夫十三 かを〻のあををほを〻を〻をををををを

富田海　周防

道行振
夕ぐれのよつるそやきるいそしく見遠舟のこゝにはいりうみ　貞世

土佐海　土佐

夫廿六
ゆくさはあるのなるとをきなるうゝ四ゆくゝまはゝまセ　季通

千沼海　和泉和泉郡

雨　貝　きゝす　松

万十一
ちぬのあの志ほひの少松はるゝ人のゝ海ゝ　不知

万七
いるゝゝあ貝とひろみてちぬのあるあまゝ　仝

千尋海　紀

夫廿三
永きはのあまのゝくなゝ井きゝてちひろはゝみよゝゝ川　家隆

千ゝ江海　[redacted]

夫廿三
ゆゝのほのちゝえのあるゝほゝハのゝけゝゝ井あき岩のしゝ　祐挙

若　海　紀

続寄仙落書
ゝゝのゝみゝなきゝる釣のみゝゝゝたひゝのゝきあゝゝのこゝ侍　定家

香取海　下総

夫廿三
なゝみあゝきしかゝゝのあのゝほゝゝゝ

津國海　津国

五十七 つのくにのうみの波よりあらはれいでたるあもう月もごとく　足人

難波海　津国

浦　沖　江　潟　嶋　濱　湊　渡　道　里　都　寺

五十七 さかくさいまきのうなのなかなるこの海おもてるえまきとーめをゆく　家持

五十六 なにくらえのけぶりたちてなびくやなるこの海あてをつけくれもも　老麻呂

大宗吳海　津国住吉郡

霞　月　氷　霰　松　雇　舟　真砂　葛城山　磯浦　濱

五十七 なにくらの海をゆきしくもハ海中よりかをとなりくるほをもをめうこ　不知

五十七 おこの海のあさけのなかをうらもいそのうら回よりこれてあーむ　全

成海　尾張

霞　鴫　浦　野　潟　濱　沖　里　松　貝

続後拾 我なかうーつくしなかうみのタ千ちくうのあく　国平

新後拾 よそのうみなかうみの海おもてにてもちふふこころれ　宗祐

大宗佐加海　常陸行方郡

五十四 ひくちなるなかうの海のあもをそひけいをそれあどなかをもむ　不知

大宗吳海　越中

菜　初草　七夕　月　霧　氷　鴫　水鳥　鴨　菅鳥　雇　釣

舟　蜑　芦　ほのぼの貝　汐煙　松　菅　雲　旅泊　江　浦

五十七 なにの海おもてにつもなみちくよあもほえをもなちちをもなハ　家持

五十八 ちくしかの海よ舟ーまーうせ中はあてなみくちくやとそをうをむ　福麻呂

五十八 那ゑの海のはれるあ夫のーまーうをくれはようとるをうの村くり　經正

鳴戸海　阿波

永久百首 はるをやきなるうの海の舟をうもあうさをめをうを多なうを　大進

大宗留加海　筑前

夫廿六
ちはやぶる唐土なるうの海にはものの〳〵弁　祐挙

武庫海　津国

万十五
むこのうみのふきまくあらしさわぐなる舟波の一面に　不知

夫廿三
せくの海にはものよりも弟きこゆし志方のあるとよはのきもしも　長方

内海　尾張知多郡

名寄未詳
うみちき浦よハ松のもるそ陸つ〳〵たるのせ　長明

猪名野海　津国

夫廿三
みなとにいでゝ〳〵おふきそ志なうるかなゆの海よ舟とむる侍　實朝

同
志なうるかゆの海の海舟あて小舟こゝよ風とまちこゆ　隆房

能登海　能登

百十二
のとはの海よつるまくはのいそのひのうよゆ月まちこそ〳〵　不知

奥海　陸奥

荒海　磯　鴫　鵜　岩　みさご　鑑　えそ　蜜

純古
うらとをもみそいつくよおくの海のこゆるとも波ハこのゝ〳〵弁　順徳院

新十
よとをもゝ〳〵ゝ舟よもやおくの海はたゝのまるふみてなゝし　為相

飫宇海　出雲

万三
おくの海はゝ川系のまるなゝ小我さほ川のおもゆ〳〵よ　不知

万四
おくの海のしほいのうこの片見ハよりハやゆうこゝのなりてと　門部王

隠岐海　隠岐

増鏡
我こゝハ小しまもよおきの海はあきなみ風ふしてゝ弁　後鳥羽院

黒牛海　紀

万七
くろ牛の海おもゆふかしきの大こゝや人しらきとしも　不知

松浦海　肥前

霞　鵑　鹿　雁　蟲　舟　有堀　潟　沖　山　浦　川

百十五　ほとゝぎすなくさつきまつこのあけぼのゝ月は雲ゐにて　不知

夫廿三　こきもてきまつこのあけぼのゝあつ月ゝ　内大臣

飼飯海　越前

百三　けりのあけぼのゝ月ゝあ〜刈もの礼ろ〜ゆたかのつゝ　人麻呂

筆海　讃岐　一説筑前

夫廿九　ろ〜きの浦のみなとの陸ゝ鳥や鳴の海ゝ　為家

藤江海　播磨

夫廿五　夕なぎのふちゝの浦の入あよもきゝてふあ月のとゝある　内大臣

越海　越中

帰雁月　雁　雪　ほの臣　都鳥　角鹿浦

新後拾　こしの海やなぎゝる浦の陸ゝ鳥ゝ　為實

子方海　常陸信太郡　子方郷　和名抄

百十三　ゝきもことゝゝのこゝやこむとちの海のこゝゝは海の陸ゝ　不知

百十六　ゝ系のこゝゝの海ゝゝつ〜ゝる玉ゝづきゝ海ゝ　仝

阿古海　摂津作哥　津国

百七　ゝきゝ風ふゝ〜〜〜ゝ海この海の陸ゝの海ゝ　仝

葦屋海　名寄未詳　津国

あけゝゝゝる海ゝの海ゝなみゝゝゝる紀伊の海ゝ　為家

阿胡海　長門

菜　釣　舟　藻　蜑　磯

百十三　ゝみをなをもちつの浦ゝ海ゝ歩て行ゝあゝの海のあゝその上ゝ　不知

同　夏哥　あゝのみのゝゝゝの海ゝのさ〜〜辰我歩〜〜ゝ海ゝゝきゝなし　仝

九州道記　小つゝみのゝゝゝゝ海ゝ〜〜ゝむゝつゝるゝゝ海ゝゝ〜〜海　玄旨

荒津海　筑前

万十七
あらつの海にほひ多くちけハあまとそろもの付る我らひさしくも

夫十七
たつつけハ海多ひにほみちいろしもく立かよふる村なるる邪　公朝

阿智方海　備中　一説安芸国沼田郡安直

詞
ちくさもいあちくくの海一うくよりてふるの名ちて字なし　匡房

佐渡海　佐渡

壬三
さくの海やちくちるのかくもうしなるもる神よあつるあくい　家隆

清澄海　安房長狭郡

未詳
嘆のたもとくき見もきくをみの海糸たくくの手くの山ひる邪　不知

紀海　紀国

夫十三
きの海よたひりあくのおきくみておくほくをるうけのくくを邪　衣笠内大臣

菜　月　鯛　網　蜑　舟　藻　真砂　伊勢島　思浦

三方海　若狭三方郡

万七
ちくさあるみくくの海ちるあくくみいあきくてしみをにおるも　不知

夫十三
おのつうくゆくいのくもよいのくく月ハくくのうみもくやけし　後九条内大臣

白菅海　遠江

攝雲記
ちくくもいみあくもくもくもくけの入うみけてうくもくもくう　宗良親王

飾磨海　播磨

江　市　川　里

堀百
ちくうくみしくまの海とくあつをいおたうなやほくの皮舟　汐夫　公實

常陸海　常陸

万代
夜舟こさ仲くくくけハ陸海のうーやくくきくよみ多ゆし　頼政

闕海

夫十二
せくくの海ちけ陸ちくくてみつるれこくやうみきのうるくの山　祐挙

須磨海　津国矢田部郡

浦濱　開江　野

万十七　夫十三
[illegible]　家持

駿河海　駿河　恵慶

霧　涙つゝ　舟

万十四　新拾
[illegible]　不知

夫十三
[illegible]　行家

珠洲海　能登　信實

雁　蛍　牧　蛍

万十七
[illegible]　家持

誤字ゝ有て一つの名所となれる歌ども

夫木
[illegible]

万三
[illegible]

拾　夫
[illegible]

万葉集三巻さゝ波のしつの浦の沼のゝみんつのよりそなそ[illegible]
此哥の轉り也　類考十二

湖の歌ゝも本條あれどいとゝ[illegible]

万
[illegible]

玉
[illegible]

道記
[illegible]

万
[illegible]

此外ゝ有殘所の條ゝあれども地名ならねば[illegible]

○浦

生田浦　津国八田部郡

夫十五
野　杜　川　池　山　里　海　磯　田

夫十二
うしとよあのいなけいこうたちいくさの浦よ分たもなく盛き　重保

市師浦　伊勢一志郡

春月　紅葉　電　冬月　衛　蛍　藻　菜　池

新古
ふるさとやいそおつもゝ毎いせもなやいちしの浦はたゆ夕のさゝめゝ　俊成

玉
月きよみさゝ山けいせもまやはちしのうゝよみ名なかり　實朝

池浦　伊勢度會郡

夫十
はるゝふ〳〵いけのうゝ風つゝゝ波よせよきゝ夕の山さ　不知

今浦　遠江

夫十五
はの葉もまの浦はゝ山きの名ゝゝゝき〳〵　光行

入江浦　駿河

家集
ちゝるゝま入江の浦ゝ波ゝ舟ゝ風ゝ雪ゝ待て八ま待舟きゝゝみゝの
明神よみてゝゝきゝゝみてゝ待ゝ波ゝ待ゝ

生田浦　常陸

家集
みゝの神ゝ毎ゝきゝてゝ入江なゝなゝ舟ゝゝゝ教ゝあゝ毎　国基
かゝゝてゝ住ゝなゝ風和き波ゝゝゝて舟いゝ待ゝ

伊祢浦　丹後与謝郡

家集
いゝゝゝゝみゝゝゝゝて待ゝのゝゝみなゝいゝゝゝ浦のゝゝゝゝ　小馬命婦

業平
いゝゝゝゝハゝゝゝの謂なゝ鹿島板来(イタク)並なゝ地なゝ
いゝゝゝのゝゝいゝゝゝゝ

印南浦　播磨

霞　鶴　ほたル　蛍　野　海　川　島

万代大　ほのぼのとあかしの浦のあさぎりに島がくれゆく舟をしぞ思ふ　もほ書　顕昭

生田浦　播磨

六帖　ちはやぶるいくたの浦に世をつくしあまの釣舟こゝろ乱れて　不知

磯間浦　備中

苔　月　鶴　鷺　鴨　鷗　うぐひす　藻　住虫　網　松

玉　みるめ人ゆゑ　ほのぼのとあけぬるかたの浦風に　国冬

現六　はつかなる　いそ山の陰のそなれ松ねぬ夢の夢の夢の夢の夢　廣兼

磯浦　紀伊海部郡

苔　紅花　鶴　菊　鷺　氷　立る舟　なのり

万七　さゝなみの　ふきかへす　かつさとる　かつさとる　かつさとる

爾倍浦　遠江

万七
[illegible]　川相

錦浦　出雲

九州道記
[illegible]

[illegible]　玄旨

錦浦　紀伊牟婁郡

後拾
[illegible]　道命

西浦　周防

新古
[illegible]　菅公

雲葉
[illegible]　後久我

十府浦　陸奥

月　鴨　水鳥　千鳥　鳴　霜　霰　松　蘿　藻　笹　野田

天廿五
[illegible]　道因

鞆浦　備後

万三
[illegible]　赤人

万代
[illegible]　行能

時浦　長門

天十五
[illegible]　不知

飛幡浦　筑前

鵑　青雨　月

万十五
[illegible]　仝

知多浦　尾張知多郡

万七
[illegible]　不知

千草浦　上総

大十五
嶮しきふちせの浦のしほさゐに秋いろこのなみたちそせくる　定圓

値嘉浦　肥前

霞　苗　鶴　みる　舟　島

新後拾
うひかりやみるめとそとなれとたちはなれしなみ　師良

千江浦　万上

秋くれのちとせはしるしほのうらみちをこころふかきあのちはとと　不知

夫十五
うちへ人いちえのうらうよきたやこころあるの宿のあきこくるしも　公朝

千年浦

夫十五
ちとせのちとせのうらはたをれ貝ちとせをそとるもはのつうひよ　祐挙

小津浦　和泉和泉郡

土左日記
あけとれはあきをしれるいもうむしまつのこしなるきしのおろす

苧生浦　志摩答志郡

霞　花　梨　鵑　夏月　納涼　霧　鶴　みる　藻　草　網

舟　磯　海　湊　野　原　山

月詩
みるみるみの浦をさそしてしもをもとうつせはまの長方

新古
うらこそさとをまのうらの和秋よなるもをもとをもとをもとをもとを宮内卿

雄島浦　陸奥

後葉
ちとのうをのうはあるもいとのうはあるもいとのうはあるもの光雅

夫十五
あ〜唐のなとうとーあのうとみもも神しるとうとのほる人行嚴

小鹽浦　加賀

良玉　未詳
かなへうるよとをはの浦とうみて

ありしきや宇月のうのとあやうとねきあうはの月とみむと　隆頼

荻浦　未詳　非地名字

いうとをむとあやはるはなをしねきあのうきの浦風　不知

小江浦　紀

正治百首
きのくにや　なぎさの浦に　なのりそ　の　なみ　ゆ　みてこそ　ぬれ　きこゆ　経家

若浦　夷若浦　芦若浦　紀海部郡

花　霞　蕚　菖蒲　夏月　夕　荻　月　雪　霜　鴫　松

草　藻　芦　濱木綿　神馬藻　みを　貝　ふね　衾　鶴　風

澪標　蜑　玉　渚　入江　堰　路　住吉

金
人なれぬ　ふるの　ふるえに　ひてさえ　ゆる　和歌の　うらみ　なれて　もる　甲斐

十
神　なれ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　成仲

新古今
ふる　ほの　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　家長

新
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　御製

百七
ふる　の　浦　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　不知

月詠
ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　経正

風早浦　駿河

夫七同廿六
さよ　ふる　なみ　や　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　為家

葛飾浦　下総

霞　早苗　小稲　松　繼橋　千鳥　名　舟　川　井

夫廿五
かつしかの　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　道信

香取浦　下総　一説近江

新葉
ゆ　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　ふる　内大臣

霞　浦　常陸鹿島郡

霞　花　春月　歸雁　雁　漢火　塩　みを　攢　舟　蜑　菅屋

夫五
こ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　光行

夫四
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　兵衛

夫廿五
ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　知家

鹿島浦　常陸

名寄未詳
[illegible]　不知

枯木浦　丹後

懐中未詳
枯木なきこうきんいうもほのみいはのゑにてちりみそめる　仝

唐琴浦　備前

春雨未詳
ひーりのまちのーほのうらいまて陸いくゝ舟りこゝの浦　仝

金浦　備中

大学會集　主基方
中つほなるこゝろ〳〵ふるあるよかるの浦ようもるあま舟　家經

勝間浦　周防

家集
周防ゐるうまのこゝろをうたて
ありしきよりうるまの浦のきしの松　元輔

風早浦

風速浦船泊之夜作哥　安藝高田郡風速

形見浦　紀伊海部郡

霞　帰雁　鶯　月　雁　鴻　雀　うぐひす　舟　蛍　雲

夫十七
うき人のはてをうみのうらなるしらなみ　為家

現六
ひるまはのうらみの浦はうるはみうんのうらけてをうら　兼泰

加太浦　紀伊

夫廿五
ひるをそうてはほうるはもそふあるはてうる　後嵯峨院

加良浦　筑前

万十五
おきへよりひるをうちくしかるの浦よあをうををうをうをきる　不知

與謝浦　丹後

霞　蛍　霧　鴫　楸　若め　櫂貝　松　雎　漁火

万五
我ゆるよ時なみくしをきやのうらの伴てる舟しるへいり　不知

風速浦船泊之夜作哥
夫十七
さよるをなうやをうをひをきやはは浦のおきをる舟ゆうも　知家

海浦濱磯湊

続拾 [illegible] 隆信

新拾 [illegible] 教覺

瀧浦 大和

万九 [illegible] 元仁

高師浦 和泉

家集 [illegible] 躬恒

高蘆浦 遠江

霞山濱沖三艘濱名橋

万代 [illegible] 長方

夫五 [illegible] 知家

田兒浦 駿河庐原郡

霞 霧 氷 鶴 鳴 雪 旭 松

藻 蛍 釣舟 旅人 [illegible] 笠館 富士

万三 [illegible] 赤人

万三 [illegible] 益人

続後拾 [illegible] 藤原基

袂浦 武蔵荏原郡

夫木 [illegible] 不知

高間浦 常陸

続古今 [illegible] 光俊

手結浦 越前

万三 [illegible] 不知

夫五 [illegible] 宗冬

竹浦　加賀

大三五　[illegible]　光俊

多胡浦　丹後

曽丹集　[illegible]　順

楢浦　備前邑久郡

九州道記　[illegible]　藤孝

玉浦　備後

万十七　[illegible]　不知

高砂浦　播磨

雲葉　霞　鵬　月　鹿　時雨　鴫　松　泛嵐　舟　山岑　濱　湊

大三　[illegible]　兼盛

[illegible]　謄西

高方浦　播磨

アハノテコラ集　[illegible]　帥老

高富浦　安芸

山家　[illegible]　西行

玉浦　紀国

月　鴫　雀

万七　[illegible]　不知

万九　[illegible]　仝

玉島浦　肥前

河　埼　里

万十五　[illegible]　帥老

竹敷浦　對馬

万十五
十こらしき浦　四つ手みち我住てとりてとりてとりて

津守浦　津国

青雨　月　鴫　雪　松　楸　ゆほ　蛍　網　舟　沖　宮

神　遠里小野　住吉神　武庫浦　霞松原

続古
こゑ人をとろかすなりけり浦風のよそほそとして小松ばかりもこゑ

同
みやゐもしらしらつりけり浦ぶねいて神代あるまつの風れ　具親

続千
ゆくすゑはいかにつもるのこり風よりてあまのいのはそるのきし　後京極

網浦　津国　頭範

五三
つめの浦ゆきてのこりしかつりまをそこもあ舟はあまをとしも　赤人

角浦　石見

五二
こゑみのはつめのこゑ四方浦ありとも人をみめ隠ると人をみあ　人麻呂

網浦　讃岐

五一
つめの浦はけふまをあくらやくしほのあのりをやくるをところ　軍王

敦賀浦　越前

後二
ゆくとをのみありいつとの浦なくいかつるの山ハ四方ハくもり　不知

浪速浦　津国西成郡

霞　葦　梅　鶯　葦草　春月　春駒　花　鵑　蛍　青雨　蚊火

御禊　荻　雁　月　霧　砧　霜　氷　冬草　鴫　鴨　鷺

雪　都鳥　雀　小貝　岩貝　風　沖洲　舟　芦　藻　流木　菴

網　篠屋　葵　さくら　蜑　菅笠　澪標　沖　汀　拷縄　梓　杣

島　潟　津　江　湊　灘　門　都　寺　磯　里　宮

三津　一橋　住吉　武庫　白洲崎　昆陽松原　伊駒山　淡路

後
あくるとをのみありいつとの浦なくいかつるの山ハ　不知

後
こゑなくてはりくるとありつもるとしなくのくるとをみくき　全

十
をあをくしくあつさはあとをきこをけてなくいの浦をとををる　能因

夫内和
海よ入なるものうらの名ちうて西をしらひろうなりそい　為家

文十五
ふるるあしのうらをみるとせいかはいなくハ海の浦　西行

天十三
天はれ京京月のうちしはのみちるとおなしハ海の浦　衣笠内大臣

長居浦　津国

新後拾
あしのしのくしるるのうらをしてなるつのあしのうらをあ月うけ　伊駒

文十七
ちるみすーのきしもせしやさよふるあるかたうへうらをあく　国信

鳴尾浦　津国

新後拾
月　鹿　鶴　砧　雪　沖　ちの入江　信家

戸主
天の代にあるさの浦はなみ立るはのあるそうをはつあ毎　為重

雲葉
うらうつふいあるとのまつはけよして又くもなき月をうるれ　増基

頼政

縄浦　津国

紅葉　時雨　鶴　舟　塩　煙　海　鳴

夫日九
ちるみちるはつのあるはるあいふなるのうら波　実家

夫日三
はるのたくなるのうらをよおをしてはるあみよるあこいれ　家隆

灘浦　津国

夫十五
なるとの浦はほよなるさふうみはを行のなみをいふえうる　不知

長柄浦　津国

橋　寺　濱　浦　道　宮

夫十五
はるふくなるるの浦をきるていくるを年とつを邦みるむ　能因

続拾
をもるををはのるるよなるうるはうるあるうはるのまをこい　元輔

長濱浦　伊勢

後
はるるるのよ我ら人命をなるるみのうるるをるるをういるー　兼輔

鳴海浦　尾張

月　鴫　雪　塩竈　うつ貢　旅人　濱路　野　潟　海　沖

続古　いそなつかしみのうらよりのちの人にうきうみ　為家

月詠　はつかるはまれなるみの浦はなれなみくらぬはのかたなき　実家

奈佐可浦　常陸

夫木五　あつまなるなるさはうらよりはうちてかぬのそよかるなくし　顕仲

長濱浦　能登

新六　ほのかなかたそふはちのみるめこそ打ほしくらぬなもちの浦　信実

奈呉浦　越中

夫木五　なこの浦よりくしはうらのみわろをとてやあしやもろ　顕昭

名立浦　越後

万代　うつきをるなこちの浦のはまへいにぬるをきつ代つめ〳〵ぬ　摂津

夫木四

涙浦　丹後

月　蛍　地　藻　磯

夫木五　あををうしはしのあしのもとのうらをもしなみくの浦よめくかのうら　教隆

那古浦　安芸

四国　なこの浦さきわのうをもなくもいこてもいかをはかくしかは　道興

鳴門浦　周防

家集　たしまのなるとさはうらのこきかくてのちをもかくやはるもむ　元真

長門浦　長門

万十三　おかくらふなけよくもるるみをなもとさ浦よりあきよ隠るはの　不知

名高浦　紀国

月　鴫　舟　霞　藤　夏月　なのそ　藻

万十一　きの海のなるさはうらよりはのちくくきうもあいぬるかをよ　仝

万七
むらさきのなくさのはまのまるこちよ神のしふをそ恋ひなりける　不知
隠永
くもの波そこゝはそをふきの浦や月もなくこの秋はいとゝ　兵部卿

名草浦　紀国

御集
ちゝきこそのうらやなくさの浦をほをしみなめとよその神をみつゝ　順徳院

那智浦　紀国

草根
くものようちくなきのやしほをはるきおちる浦波　正徹

鳴門浦　阿波

水雞　鴫　貝　蜑　舟　濱庇　汐風　里　門　沖　淡路島

散木
はくるをはあまもあぬるとも近やなるとの浦よりしほのおと　俊頼
続詞花夏哥
なれそこのなるとの浦よおとをまるふとあるはるをまつ舟
永百
うせをやきなるとはらの舟ようもとるさとめをしなう　大進

浪懸浦　筑前

大十五
なゝとのこゝのねさあよとをゝくものあるいとるかゝるものゝ　高遠

波ノ屋浦

懐中　未詳
なゝとはやの浦をもむてよはるをれやしのよさあれて衣ちゝう　不知

武庫浦　摂津

月　雹　衡　雀　渚鳥　釣　舟　蜑　網　汐　漁火　旅

山　泊　海　川　浦　崎　渡　入江

和田御埼　住吉　芦屋　粟嶋　伊駒山

続後拾
なゝとはてはきさゝ衣さむ〳〵よいゝくゝ　堀川
万三
むとの浦をときゝくむ小舟はゝをまをむとのゝ　赤入
大十九
なゝとのゝ〳〵はのゝけあひちゝけは友をををのよみつゝもゝき小舟
大十八
さゝををゝうゝむとのゝうゝせをゝをゝてゝりをゝをゝかなのをゝいゝ　中納言
大十四
をゝゝのはゝよむとのゝうゝせをゝをゝてゝゝい神のめゝゝみををみゝ　實家
道因

結浦　但馬カ

大十五　位置の浦まつらなれとも結ぶの浦とふれて　能宣

大十五　何しらなきむすびのこしけるさしてなるむすびの浦はいうひもなきう邪　知家

萬葉集なる足代過ハあはきさしなることあしろをきて訓あやまり結浦ハ結宮と同処にて紀国にしてよるなれなるあ一

室浦　播磨

鵜鶘　松　磯　舟　泊　海　鳴島　追門

万代　むろの浦のせとはやはや舟はてくかくはるるものをしさ　信實

万十二　せとのこしたせとのさきあるあしまのそこをはよはなるとこも　不知

浮津浦

大十五　風のこうきつの浦はなをもてつきはるるまつくせる神をあのき　如願

散木　大十五　世の中ハうきつのうしよつくかるしもるの松をうあくれあつ　俊頼

憂身浦　みのうきか

大十五　波くきくうき身の浦のしるてつるものこそはは見ひろをは　下野

猪名浦　津国

万七　ちなくうくうかなのうくうをこきくれハ夕月かくうぬ月ハあくて　不知

後瀬浦　若狭大飯郡

散木　かきうあてのちせのこうくうきをるはのあるのみるめも　俊頼

能許浦　筑前早良郡

万十五　かくくうのくうのこはくくなみはくぬはあをて家をこひぬはは　不知

野阪浦　肥後葦北郡

鴫　雪　松　舟　うぐひす　里　水鳥

万三　何しかのゆきうの浦の舟もてあるるをうなみかなかの　長田王

散木　あーきくの波くの浦のうつ貝いもせをあてつくあくあくむ　俊頼

大江浦　津国

夫六　玉もかるあまのこゝろは浦風によつてしの乱いきもあゝむらも　不知

興津浦　和泉

夫廿五　打よせる汀のちゝもなるゝえてあをつのこゝろよみるなゝなり　為家

大輪田浦　津国

夫廿五　大そのゝうゝもこよひ舟あてしほきをゝの月をいとゝ弁　具氏

大淀浦　伊勢

霞　菅米　春月　帰雁　花　蘆浦　夏月　御禊　月　雁　鴫　雀

松　花貫　ほた　螢　みな　川舟　濱

新古　ちゝのうゝはかり千みあゝをゝまたえてゝつのうかゝ　定家

新拾　あまとゝの浦うゝ家ちよゆゝ居もひゝつゝをむ唇のつゝ舟　知家

夫廿七　大淀のゝうゝもむもるゝあつるのほそふかゝみのゝをゝのとゝきく　範宗

大浦　遠江

万八　あまのゝうゝけるのもゝ居よゝもゝる波ゆゝゝゝゝゝあゝのゝ　聖武天皇

大磯浦　相模餘綾郡

夫廿五　あゝをいゝその浦はこきよゝもゝる白波ゆゝゝみて立ゝ月をいまゝゝ　元真

意宇浦　出雲意宇郡

万廿　安宿王等集於出雲掘安宿奈杵麻呂之家宴歌

大夫のみゝてゝゝこゝみおゝのゝとゝゝのゝえゝゝゝゝゝゝゝ　奈杵麿

生浦　出雲意宇同處平

九州道記　いゝゝゝゝゝゝゝ

懐中未詳
ちはやのつきんはあるをもみのうゝみむゝゝはまをぬふ　不知

大浦　筑前

百十六
あゝをゝゝゆきうゝはまうをのあるの大浦田めゝゝのもたるう　憶良

邑久浦　備前

六帖
おもうゝあるをくのうゝの浦風よつゝしのをゝはいちゝめゝむうも　不知

玉浦　駿河

夫百五
をのひやゝゝふみうゝあくきの浦ゝをゝをたゝのんもゆきてをゝの　隆季

熊野浦　伊勢

夫百八
みくまゝの浦のをゝゆゝみえめをていゝゝをゝみの三てうゝ年　資隆

万代
をゝをゝをみゝゝふ月あけてみくまゝの浦ゝはるをゝをうゝ　為實

玄三
をゝゆゝもいゝゝうゝなゝあゝしきゝふりうゝみくまゝの浦　俊成

熊野浦　紀国

後拾
をゝをゝなゝよゝをゝをゝきゝふみくまゝの浦のをゝゆゝうゝみをゝむ　道命

詞
いゝうゝのつゝゝと人をみくまゝのうゝのおうゝ恵ゝゝ長毎　泉式部

新古
みくまゝ野の浦よりをゝうゝよゝて舟のをれゝはゝをゝてゝをゝ　伊勢

黒牛浦　紀国

万九
くゝうゝ一カくゝをゝの浦とゝをゝのあるをゝをひきはゝゝみ　不知

矢矯浦　三河

天廿五
いゝくゝをゝてやゝをきのうゝはあをゝはゝをゝやゝをゝくゝて人はゝをゝの　仝

八十島浦　出羽

夫十三
春をゝ女房の笑ひ屋風よりあの八十島よ舟よ人のはるか

八十島のうゝはあきくゝとなゝきゝてゝあれはゝもはきゝくゝあゝ　元真

真野浦　津国矢田部郡

若草　萩　芒　蓋　雁　月　鶉　鴫　霜　氷　水鳥　芦

菅　橋　池　入江

万四　まのの浦のとまをかけつきそしらんゆもるくやいもうるあけそめ　吹黄習

草巻　九月なるよ浦のつき橋なかそしらんよりしかくそそもさゆのこゝ舟　頓阿

新続古　舟よそふまのはしうなるくとまるくとものつきハ　尭尋

真間浦　下総葛飾郡

霞　鴨　舟　沖　橋　入江

散木　かつしかのまゝはしうをのはつもあけのそほ舟かゝろあをなり　俊頼

松島浦　陸奥

月　橋　島

夫廿六　まつしまやゝしをそもきいをゝれほるゝもそひしきあそて　後京極

松帆浦　淡路津名郡

万六　あしたゝしみまつほの浦よ釣ふきよるもかゝつゝ分あきるあけはやきて　金村

松之浦　讃岐

霞　松　恋貫

後拾　松山のまつのゝしをせふきよせハひろひてもの〳〵ひをもしこひ　定頼

同　なくめよりをゝるもあへる衣もよあきをもそそまつゝゝをを　光成

松浦　肥前

麝　遊女　海　沖　潟　山　川　道　鏡神

玉　立ゝる月りやつゝまゝつゝ舟ゆゝくもをくゝ　御製

新千　あいゝもとあのふんふまつゝるかゝみのつゝやゝるをゝ弁　紫式部

夫廿　ゝてをハ〳〵ふあゝ〳〵もをゝしまゝつゝのゝをゝる舟人　家隆

麻里布浦　周防玖珂郡

万十四 大舟よかーのうらとをきよ花まわふの浦よやそうとを　不知

万十五 味こいちをてくはりすいこれとあうぬまうふの浦をとをるものを　仝

松之浦　東国

万十四 まつら浦はさとをとうこだちをのとぞあもほをもろつづもみのをも　仝

萬禮賀浦

散木 ひかりをハまれるのこうよはきうをるあみもさのこや人あとる屋き　俊頼

飼飯浦　越前

万十二 ちのうこうよよをもをとうをとうはをくうよいもををてくあをはるもも　不知

吹飯浦　和泉日根郡

花　鵑　月　雁　菊　鴫　松　雀　舟　芦　蚕

濱　潟　繪島

家集 和泉のをふけの浦といふ所よりうとをまたりよあけて

二見浦　伊勢度會郡

霞　花　夏月　雁　月　菊　霜　氷　鷲　霰　雪　芦

蛤　みる貝　松　蜑　塩屋竈　舟　山　潟　伊勢島

新古 ちのけうこきふこうこの浦よりはの秋のこめをて時うしみ人　實方

夫古五 いせーをやふこをみの浦はうこ貝あハはるをもうをつををき　康光

笛浦　丹後

夫十 ちうこうこきはこをよりもきこうハふえのこうもほふふこなり　不知

二見浦　播磨

卯花　鵑　菊　磯　里

古今 仙馬の浦ちうとをてふこえの浦といふ所を

夕うこよあるのうちきこををけうこうこふあけをををみめ　兼輔

藤井浦　播磨

百六
ほのぼのとあかしのうらのあさぎりに　しまがくれゆく　あまのつりぶね　不知

藤江浦　播磨明石郡

百三
ほのぼのとあかしの浦の朝霧に　しまがくれゆく　あまの釣舟　人麻呂

家集
たまづさの　ゆきかよふらし　あしべなる　たづのなき　ぬれぬ　あさぎりの　ふかき　ゆくへを　俊成

夫十二
月のうちの　ふちえの浦の　ほのぼのと　あかしの　あさぎりの　ふかき　ゆくへを　内大臣

藤浦　備中

大嘗會
ものもふと　ねもせぬ　ぬばたまの　ゆめ　ゆめ　ぬばたまの　ゆめ　ゆめ　ぬばたまの　ゆめ　ゆめ

小磯浦　相模

貞応海道記
大磯やこゝろの浦にゆきもとゞまれる神こゝの邪

越路浦　越後

玉
ものゝあはれとうちの浦にはたゝ波もたゝうなゝかれるとゝをさけ　初君

衣浦　尾張

月　電　鴫　玉拍　禮　蜑　島

七十五
波あらふこゝろもの浦の神のいと汐はのかゝみなくこゝ邪　西行

木津上浦　阿波

後拾
十四
波ちるあしたゝ又同ゆふなゝてかゝるところの浦と云ふ波のこゝとゝて
こゝろみのうらゝへてよる波もあれしゝゝるなゝり　基房

小菅浦　武蔵　葛飾郡　小菅　神社

百十四
ちゝとせのうの浦ゝ風のほゝゝかゝけこゝろと思ひをゝこゝむ　不知

腰細浦　安芸

しほゝゝ波ゝいとゝ子ゝゝの浦ゝ波やゝけこゝむ　持豊

琴浦　紀国名草郡

夫十五
このゝうやゝをゝとゝのゝこゝゝゝゝゝの浦波　雅永

浅香浦　津国

霞　藻　舟　汐　雪　澪標

万二
ゝゝこゝゝはゝうゝゝ多むゝゝのゝはゝあゝゝの浦よゝゝゝこゝ
新十
玉ゝかゝこゝやゝこゝゝあゝこゝのゝこゝゝゝの浦の
新続古
月よゝのゝゝゝゝゝ

葦屋浦　津国

霞　花　蛍　青雨　蚊火　鴉　漁火　処女　塩屋　灘　舟　武庫

続古　はけるらんこのやの浦は陸まもはのうみ紙ちのたらし　為家

新続古　くきくもりてそきけあしやの浦ゆるのはこそなれ時つしら波　不知

夫木五　学とあしやの浦よりはのくにはまぬさみとあしら　後鳥羽

葦辛浦　伊勢

夫木五　こきさらの船とゆうひしてはのあくまるはのうら波　常磐井

阿古岐ヶ浦　伊勢

月　雪　うほ　浪　蜑　鯛　島

新後拾　ちとれもとよかひとくくてたほちつひあこきう浦よなを月み　崇全

新十　いくくもむあこくくくよ独めれてつもやはのかてき見ひる　公敏

栗子浦　尾張海部郡

神馬藻　うつ貝　千鳥　みるめ　うほい　蜑　舟　杜　里

続古　うこ糸のあ、ぢの浦はなみとみこあくくよくく舟もなし　経家

夫木五　よとともよくくもくくくあいその浦はあるのうほい　後鳥羽

阿胡浦　志摩　五十五

あこの浦よふかのくくくむ雲かくくくあくくもの　不知

阿也志浦　常陸ヵ　武蔵アヤシ、橋ヒリ　名寄　未詳

之ちきりくくれも一つはさくくくなくはやくのくくはなくくのくや　仝

安子能浦　越中　百十八

あこの浦よくくく

夫十五
おきそるみるうひかりてよきのあけぼのあそひの浦ところもてあそひ　不知

明石浦　播磨明石郡

霞　春月　鵬　蛍　夏月　蕣　月　雁　鹿　霧　紅葉　砧

落葉　氷　鶴　雪　松　苫屋　舟　雀　煙　拷縄　蜜　旅

塩　みめ　追門　潟　沖　泊　濆　灘　　繪島　須磨

拾
よしともあそひの浦の杉原はるかにそよとふるしらなみ　為憲

後拾
なるもくるもはるのうらのけしきにて都の月をよそにみるかな　繪式部

金
はるかのきしをよそにてゆくふねはあそひの浦やとまりなるらん　實光

新古
つりくるとあまひあそひのうらにみるはのきしをよそにくるくる　公經

雲葉
秋はよそひ浦いはるはの海はよりかるはをいろなるかな　雅經

安藝浦　安藝

嚴島詩記
よるとしもみるさるひやまなしひ衣きくあるさるひきの浦風　貞世

有浦　安藝

嚴島御幸記
ありうなるもありの浦なれはあるをかくるしるなり　隆房卿平語　内侍

ありもまて祈はるのはは海ふるまてあくみるあるをとるそ　良恕親王

青海苔浦　安藝

かけひくをあるはるもあるのの浦はるるはのあるる　持豊

阿胡根浦　紀国

我のしはしもはるるはるるあるの浦はるるはのあるる　中皇命

秋津浦　紀国

夫十五
もろふねはるるの浦よ笠さしてちまつちきてそあ　惠慶

飽浦　紀国

方七
あしのそてはるるやみしもあくるのはるるはるをみるるを　人麻呂

淡路浦　淡路

夫十二 あそしの浦よりうちの夕なきとふ所のひさそふ所つしたるを　為家

網浦　賛岐

鴉　蜑　焼塩　浦人

百十一 中くよ天ゝるとしたゝハあゝのらゝの浦多ゝ四ゝと多もかるゝ　不知

有馬浦　紀国

戸三王 ふあゝしらゝのうゝ浦ハさゝよゝきゝてゝのこゝをあゝゝ　増基

堺浦　和泉大鳥郡

夫十五 ゆゝまゝのさゝゝの浦ハさゝゝ調あゝあゝゝゝ

夫二十二 あらきやの浦の松原 頭仲

湯等浦 紀国

夫二十五 きのくにやゆらのとをにこぎつれぬ 四条

和布苅浦 安芸

道行振 たびの衣神もめぐるるあるかなの浦 貞世

三津浦 津国

霞 梅 春月 花 砧 雁 月 霧 紅葉 霜 鶴 雪

芦 藻 忘貝 松 真砂 網 塩 蛍 雀

濱 湊 泊 江 埼 立田 伊駒

後 なにはつのみつのあしのかりねにあはぬ世をとはるるかな 業平

夫二十五 まつの色はかすみのうちにかくれつつ 定家

夫二十五 らの浦よりあまのつりぶねはこぎ出 衣笠内大臣

三島浦 津国

夫二十五 櫻貝 うら貝 ちどり 楸 江 渡

敏馬浦 津国

霞 春月 青嵐 鹿 鶴 忘貝 玉 みる なのりそ 舟 松

臨永 立てそなれ陸もそなれとみてそなれたよみのあまの 實任

続後拾 そなれ松あれこそたよいまそなれかきくらしてこそあれ 基良

三穂浦 津国川辺郡

苫 舟 藻 綱 浦人 苔屋 雀 塩

夫二十五 もしほやくみなのうらにあるなれていくそのあとをとれきあるむ 好忠

三津浦 伊勢

夫二十五 我もさそたのうかかくるいせをあやうきひきあまのうらぶね 長明

三穂浦　駿河戸原郡

月　雁　霧　紅葉　落葉　鶴　雪　松　蛋　網　ちま　旅

沖　菴原　清見　冨士

万三
いほそしのさとみさきのみ月のうしのまくきみつしの景色　益人

玉
きよみうしのうやはるむ月みみつくしの月のうしわ　後鳥羽院

夫十五
ふしのふかるものの月とうしきそ雲ふきよもる庫なみ　為家

御崎浦　相摸御浦郡御崎郷　和名抄

田国
あハまとてもかまとうさきの浦うしの月重衣かひまうまて　道興

三津江浦　陸奥

夫十五
さうかけて都よもる月みをうしろえのうらまよひてうれ　能因

三尾浦　隱岐

御集　遠ホうう七条院の御方へまゐる
ありしやれうきあとみなのうしの月よなうしほる神のちつくを　後鳥羽院

三穂浦　紀国

万二
月きよのうしの浦四のかつしうきもうしあしきなき人ある八　不知

万七
かさきやけうの月のうし四をうて舟のふる人さうくなみうしも　仝

三名部浦　紀国

万九
みかの浦月ありうちをねうしうるつもるあるとみてうてうも　仝

御座浦　土佐

未詳
おうせうとみの浦うしうもかうしうくくなけきハ　仝

美乃早能浦　筑前

後拾
うううるみのうの浦けうう貢むるなのうこ立ハきいきや　馬内侍

筑紫道記
なうをううこうう波のうつ貢みのうしうやかくもなうもし　宗祇

美留米乃浦　壹岐

古
みつしけうのなうをしうをあいうこうこうあのうしうをうこうをて　深養父

御牧浦

夫計五

[illegible]の浦の[illegible]

衣笠内大臣

身開浦

懐中 未詳

[illegible]

不知

鹽竈浦　山城

古

[illegible]

[illegible]

敷津浦　津国住吉郡

霞　月　鹿　霜　時雨　氷　雪　松　雀　なりそ　網

旅　苔　舟　砂　蜑　千鳥　住吉　淡路島

[illegible]の浦の[illegible]

俊恵

新後

[illegible]

玉

[illegible]

俊成

白菅浦　遠江

名寄 未詳

[illegible]

為子

志太浦　駿河

万十四

[illegible]の浦と[illegible]舟[illegible]

雅経

甘之浦　武蔵

夫計五

[illegible]

不知

四国

[illegible]

光俊

鹽竈浦　陸奥宮城郡

霞　鶯　春月　帰雁　蛍　月　霧　雁　鴫　菊　鴉　鷺

雪　松　舟　苔屋　塩竈　鴨　雀　蜑　磯　沖　白川

道興

十 [illegible] 清輔

新古 [illegible] 慈圓

玄玉 [illegible] 重家

夫五 [illegible] 季嚴

信夫浦　陸奥

春雨　鵑　ほと　蛍　拷縄　網　山　岡　里　杜　原

新古 [illegible] 讀岐

勅 [illegible] 家隆

続後拾 [illegible] 仝

続千 [illegible] 兼氏

鹽浦　甲斐塩山同処平

夫廿五 [illegible] 隆季

飾摩浦　播磨

堀百 [illegible] 公實

鹽屋浦　紀国

夫廿五 [illegible] 雅成王

鹽埼浦　紀国牟婁郡

山家 [illegible] 西行

白良浦　紀国

夫廿六 [illegible] 仲實

清水浦　紀国

文明紀行 [illegible] 蓮如

島浦　大和島宮同處平

万四 [illegible] 不知

万代
やまとちのさほの山風ふきそめてみちちかく　素俊

鹿浦　筑前

蛍　釣舟　雀　なのそ　いそひめ　山　海　潟　神

万十五
かりふしよりなくなる志らの浦より仲つしまをみそのくしも　不知

万十五
志らの浦はいさりする舟あけくれ浦四こそし橋のきこゆ　全

万代
ほのぼのとあさけやきめつる志らの浦よつけの家ゝもとゝみなきこゑ　後鳥羽院

滴浦

天十五
なかなかしの志らなみのつるちとゝとゝしなみ　内大臣

繪島浦　淡路

霞　月　鶺　釣舟　島　潟　埼　磯　里

天十五
月詣
ちとゝあくるまの浦よさむ月冴ゆてみるゝ春の郭　西行

ゝうゝおもゝくゝとかゝゝとゝきなるゝ志まのゝゝみゝゝゝ　廣言

日笠浦　播磨

天十六
天つゝゝしゝゝゝ神もめゝゝよゝゝゝゝゝ仲浦とゝて歌ゝと　顕季

藻鹽浦　非名所平

続古
なゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　光俊

瀬戸浦　武蔵久良郡

四国
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　道興

開浦

天十五
ほゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　不知

須磨浦　摂津八田部郡

霞　菜　鶯　花　帰雁　春月　鵑　蛍　青雨　夏月　螢火　雁

秋風　月　鹿　霧　砧　紅葉　時雨　冬月　鴨　鴛　落葉　雪

松　秋　藻　藻汐　雀　烟　漁火　旅泊　みゝ　網　舟　雲

塩竈　芦　蜑　櫛　菴　苫屋　塩屋　砂　衣（波間衣　塩焼衣）　濱　海

江　岸　開　淡路島　繪島　埼

後金詞千載

[illegible]

貫之　師時　通俊　家隆　信實　親房　寂連　定家　順徳院

不知

住吉浦　津国

霞　梅花　帰雁　鶯　藤　鵑　夏月　御禊　月　雁

砧　菊　鴫　忘草　忘貝　忘水　貢舟　雀　澪標　藻　網

御幸　岡　宮　里　江　岸　濱　神　武庫　淡路　遠里小野

後拾遺勅　[illegible]　元輔

続拾遺　[illegible]　不知

続古今　[illegible]　内大臣

新後撰　[illegible]　基澄

新後拾遺　[illegible]　経任

[illegible]　国冬

杉浦　安藝

[illegible]　持豊

先哲名所と定めらるゝよりの名所あるゝの多くを一つ二つ

いその浦　万 いその浦ゝつゝみよりひきさゝむ船のとゝきあぐ水ハ君ゝまもる

ほうこの浦　万 ゆきのうるのほうこの浦ゝにまこゝやきてはゝとをるゝ後のあ

そこの浦　万 天地のそこひの浦よりあめくゝるゝこゝろ人ハさゝ

ねみなの浦　名寄 くる人もなきねみなの浦なれハんとけさハみるなこゝ

ほりの浦　後 ほりのうゝのいとゝきゝとゝくもみるゝ所ハよゝてもほりハさうゝ

ほうまの浦　名寄 ほうまのうゝにはあまのうゝ陸のうゝにまれと立ゝてはく

ほうこの浦　拾 かゝこのみほうこの浦ゝ波ちゝよりゝる時ゝて逝ゝゝゝむ

きしの浦　夫 おさゝうせきしのうゝゝの浜ゝ拾ゝるゝ杉のい行ゝの邦

ゝ待浜浦　万 ゝつゝの浜の浦四の岩ゝゝくさゝと又もゝむのも

ひゝゝ浦　玉 くゝふゝゝまゝきゝつゝゝゝ陸のひゝゝのうゝゝ行ゝの神ゝ

宮名寄誤ゝゝゝ一つの名所ゝゝゝ教ゝ

ゝゝの浦　名寄 ゝ名の後ゝゝの浦ゝ陸ゝゝゝみゝこなゝゝゝゝゝゝ舟もあ

まきの浦　藻 中ゝゝゝゝゝゝひゝゝゝゝゝの浦ゝ行ゝゝゝとあもかゝつく

まゝまの浦　家集 ゝひあよゝの行のゝゝゝゝゝゝ毎ゝまゝまのゝゝゝゝきゝのひあ

ゝゝの浦　堀後百首 ゝゝゝの浦　ゝ拾遺 ゝゝゝゝゝゝ

○濱

出見濱　津国住吉郡

春月　納涼　月　雪　柴

万十　住の江はいかなる浦の蜑なれそ藻刈そねたむ人あまの袖　人麻呂

十二　秋のよの月のひかりもきよみしの浦こぬあけのそら　家隆

伊勢濱　伊勢

霞　春駒　蛍　夕　秋風　月　雁　萩

万四　神風やこのもの萩をうしきてならの小やまをあきの夕へ　不知

新十　なくれはのつもりもはてぬ萩すすきもとりもはらはぬ　国冬

色濱　越前

紅葉　落葉　鴫　霜　雪　貝　山風

山家　ほそもりもまもるの小貝ひろみとしいらの浦をハいかやはらむ　西行

夫古五　山あらしのはふちのしいらのそのあらいこしちよのあらさひす　寂念

揖保濱　播磨

青雨　鴫　雀　舟　塩焼　湊　泊　山　飾摩津

万代　とたたくもいらのそのあらいなみちたれもあ青のうれ　登蓮

魚住濱　播磨

夫古五　ゆなきをつくるあのなきをやいなをみの浦をもちをあ　不知

磐代濱　紀国

霞　藤　月　霜　松　崗　杜　野　岸　神

万二　いはしろのそのあらいつくとしりむをひさきくあらハくこうてみむ　有間皇子

夫古九　むをひあ〳〵をあいつきやいをしろのそのあ　拾ろよきのあ月ケ　顕昭

石城濱　伊豫宇和郡

夫古五　つをなさいハいをホのそのあのちきハなをなしをしんのうみをしあらむ　長堂内大臣

怡土濵　筑前

夫廿三　つなてなを引きるほるよほあけいてのをるを舟もよりるる　不知

市野濵

夫廿五　我うくいちのたちるのさもをの移まりせてのをなるを郡　全

速見濵　豊後速見郡

百一　我妹兄をもやえをるたしやるて我をまつ持ふさるなゆの　長皇子

星合濵　伊勢一志郡

夫廿五　いをのほやをるあるいるをてはをるるふしやをるむ吟のをる　内大臣

同　うきあるるくものきしへをるけるをあひの屋もるるるる　祐挙

常世濵　冊後

仙覚抄未詳　るるるをこひ紀ゑをひるき我をるまいををるのをるたしの屋のをきを　不知

千沼濵　和泉

百五　ちあのほのをるるつのふをつるあるあて我をひをるるるのをるよ　不知

千尋濵　伊勢

後　いをのほたちひるのをるる拾ゆるるもいををるるるるたるるき　敦忠

千草濵　上総周淮郡

夫廿五　つるをるむ移の字のつたを庵ようもちるきの屋のるよを子　祐挙

千酌濵　出雲島根郡

夫廿五　ちるをるなるちるみのをるしあ殘玉をるるをよをきをて申けおきの後る申　中務卿

千尋濵　紀国

春月　雪　行縄　蚕　砂

家集　あのもみて をるるきををなはをるるるのうちひるの屋の名ををるむ　兼輔

千里濵　紀国

夫廿五　みるるをいちをるるのをるたしの外を侍も拾ゆあるるをるるれ　浄忠

知可濱　紀国
戸室
ちかのうらなみたちくるしほのいろかな

小津濱　和泉
土佐日記
あけぬとてはやこぎいでぬあしべこぐこのうらのあさぎりのなか

平美濱　伊勢
夫廿五
あごの浦同処
波のうへにあさりするかもかりのこゑのうらにのこりてなくなり

小濱　駿河
新古今詞合　未詳
なるたかのうらのはちすのはなのうへにあかしのあさつゆをおくらん

不忘濱　陸奥
夫廿五
ふるさとをいつも我こそおもふらんの濱のあるじはなにとなるらん

杏人濱　津国カ

増基

伊平

伊勢

万九
あらたまのとしのはじめにかくしこそあきのこのもをかねてしるらん

神小濱　紀国
万十六
大さきはら神のこのもをみわたしてあきのこのもをかねてしるらん

形見濱　紀国
夫廿五
こひしさのなぐさめにもやこのうらにかたみの濱をかはしけるらん

風莫濱　紀国
万九
かさなりのこのしほのしほてをこのうらにかたるあまをとめ

呼續濱　尾張
新後拾
なごりをつくしのうらにかたるあまをとめ

萬代濱　丹後
藻塩草　未詳
ちよのあるよろこびのあるはもしのみきなみもよろづよのうら

與謝濱　丹後

不知

乙麻呂

不知

憶良

嚴阿

不知

俗冊子
おしてるやよそのもみぢのうつろひは　慈心

餘綾濵　相模余綾郡

万十四
さこみちのうらさびなるもみぢかな　不知

高師濵　和泉大鳥郡

霞　月　衡　崔　松　蜑　砂　信太里

建保
かりのあの上陸のはるのもみぢかな　行能

同
なきあとのこだちのもみぢはつるとよいそ風のはるかぜかな　康光

高師濵　津国西成郡

万一
大伴のはるかぜのはるのもみぢかな　東人

万代
おほぬものはるのもみぢかな　隆季

高濵　津国

夫十五
さゝなみのつるさゝ住ハはるのもみぢかな　仝

夫十三
いくとせのあるとふたもしらぬもみぢかな　為家

手節濵　志摩答志郡

山家
さきしるのあるつしのあをはるのもみぢかな　西行

手綱濵　常陸多珂郡

万九
とほづまはるさはあらせハたゝもはるのあをはるかな　不知

高砂濵　播磨

夫十七同十五
さかゆくはるさことのもみぢかな　源信

多多良濵　筑前

九州道記
ちはやふるかみのあるあていまもあるはるのもみぢかな　玄旨

多古濵　出雲多古島同所平

夫十五
たこのもみぢはるかぜいたくしてそのしるもハ秋のもみぢかな　忠岑

素覩濵　陸奥

夫十三
いくとせのあるとふたもしらぬもみぢかな　為家

手節濵　志摩答志郡

山家
さきしるのあるつしのあをはるのもみぢかな　西行

手綱濵　常陸多珂郡

万九
とほづまはるさはあらせハたゝもはるのあをはるかな　不知

高砂濵　播磨

夫十七同十五
さかゆくはるさことのもみぢかな　源信

多多良濵　筑前

九州道記
ちはやふるかみのあるあていまもあるはるのもみぢかな　玄旨

多古濵　出雲多古島同所平

夫十五
たこのもみぢはるかぜいたくしてそのしるもハ秋のもみぢかな　忠岑

素覩濵　陸奥

山家集 大古五
[illegible]　西行

角鹿濱　越前
五三
[illegible]　金村

筒井濱
夫廿五
我[illegible]ハ[illegible]方の濱となりあくむ[illegible]　兼盛

長居濱　津国
新十
[illegible]代ハなりかのもの[illegible]　頭綱

長柄濱　津国　近江ノ長等カ
霞　霜　鶴　雀　芦　苔　藻　松　蜑　舟　小石
雲葉
万代をなりうのもの[illegible]　元輔

難波濱　津国
夫廿九
[illegible]　具氏

夫廿五
[illegible]　顕朝

名子江濱　津国那古乎　越中乎
万七
[illegible]　不知

夫廿五
立[illegible]　為家

長洲濱　津国
夫十五
[illegible]　相模

夫十七
[illegible]　兼輔

並濱　津国
紀
[illegible]　仁徳天皇

長濱　伊勢
鵜　雀　貝　みる　舟　蜑　浦　渚
家集
[illegible]　躬恒

後 たゝ乃ゝよ我こいのち字なるもの　不知

長濱　遠江　万八
あ母のうしのそのなるもゝうよるゝ波ゆゝけゝ恋とあるよのころ　天皇

鳴海濱　尾張　夫廿九
ちゝせてもいうゝちるみのもゝ椒しるゝ波よ神とゆうて　為家

長濱　越後頸城郡　土人古寺
なそうれよ月事の人のあゝゝえて乃ちゝゆ　不知

四国
ゆゝ乗の乃ゝ母ゆいちゝゝ母ゆきゝとたひのゝき移ゝして　道興

長濱　越中　万十七
松田ゆのゝそゝ母ゝてゝあ母川ぼきゝ母ゝ川ゝちゝゆきゝゝり　家持

那智濱　紀国　夫廿五
ゝゝなるゝちのゝ母ゝとゝてこゝ浦ゝ波ゝゝをゝゝえゝ　俊成

名草濱　紀国

子日　月　鶴　雪　蜑　貝　みゝ　墓　聟浦　松

後
きのくゝのなゝきゝ侯ハゝちゝやこゝのゝゝひゝゝゝゝ　不知

新十
ゝゝるもゝまゝゝきゝのゝ母ゝ打ちゝみゝきゝ神ゝゝゝゝや　教定

涙濱　丹後　万代
ゝゝ神ハゝゝゝゝ母ゝよゝゝゝ母ゝ母ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　泉式部

鳴門濱　阿波　夫廿五
ゝゝ代ハゝゝゝゝゝゝゝゝ母ゝ花ゝゝきゝゝ升ハ升のまゝゝ　家長

虫明濱　備前　夫廿五
舟ゝゝゝゝひゝあけのゝ母ゝの杉ゝゝゝゝ母ゝゝゝゝゝゝゝゝ　通具

無耶濱　阿波　家集
阿波守ゝのゝよゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

めてしらしらやつかはるあてるもの

よそそそそもやのうるつふみしらあてしはあまのぬるそでもれ　小侍従

月詣ナドあしはもやのもるつうみやよそるあるうの浦よりもも　宗光女

折越濱　伊勢

新名所音合あきうつはあしつそうけてうちうのもるのせうるくまるなくし　定忠

同いせしまやはのうちうしよ月さえてもるせあきそうの浦荻

有度濱　駿河

霞　鴫　網　真砂　沖　天製　田子浦

物いろとなしくあるうそうあるうそうもるのうちくも人のちうきさうの沖　相模

玉うきはのかしもそうはうそうそるもるはうそうて人よりうのあを　為子

歌濱　越後

善光寺紀行舟人もこうそうあうそうやなもけそるうそうの白波うあてそして　亮惠

北国紀行向やまいしまの代うそうの海よりうちのそはうそうの白波　仝

内外濱　丹後

曽丹集よそうの海はうちうそはうそうてうきをそうそるはのはうて　好忠

宰閑登乃濱　周防

家集あのうすのなうしはの南のこきうそうさうそうのうるもかくやはうもむ　元真

熟濱　筑前遠賀郡

夫廿五かううそうはあるうのあなうのまいうちをはうそうの浦なりてうきむ　不知

宰良美津濱　御集

うそうみうの浦よりそうそうあうきはうのあうきのうのうとあるうそうれ　齋宮御

猪名濱　津国

夫廿九あうのうのうるうのうやの浦うそうようのうの内のうのみをさいうき　覺延

興津濱　和泉和泉郡

鵬　月　鴉　鶴　網　檗　旅　浦

新古
こしのよあけのあさぎりのたなびくなかにあらはれぬ　定家

御前濱　津国

月　雪　松　里神樂　みさき　紫冊　灘　猪名野

万代
雪ふるたかのたまつのたまのうらにあけゆくつるのこえすさまじ　鄭守

夫木
神さびやあまくの浦のよもすがら里ちかくなる鐘の音　後京極

大曲濱　津国

万六
たまさかにとみ浦こぐはしみ神代よりみ舟のるなるこの浦　福麿呂

大淀濱　伊勢

勢語
大よどのまつのみどりにはなきあかくはつるもいとのあるよりふかきうらのみるめはたるとそあらぬ　順

大濱　三川

不二歴覧記
大ちのなみちとみあとこのしまやらのきしよ舟よせて今より　雅康

大磯濱　相模

夫士五
おのが本立ちていもの付きまけにけりこしらはおもつるの度　為相

大埼神小濱　土佐

万六
おもしろきのつとみの子をなにちのうみとしらにあるよ　不知

熊野濱　伊勢

紫
みくまぬのたまのよくもよあるほうはつくしの元つまこしらあるもむ　俊頼

黒戸濱　下総

更級日記
下つさの国云々くろとの浦とかいふなるとこのたまを
たまくしらしきよ探しらて月ふ三のうもいしうつほそ——

玉
たまくしらのそのうハつるみもしくろとめたあけ秋のよの月　孝標女

雲濱　若狭

○名所集五

大廿五 [illegible] 不知

倉無濱　豐前

万九 我妹子らあらもひづ[illegible]と刈てをめむ[illegible]の濱　仝

大廿五 [illegible]

山白濱　安藝

[illegible]　仝

八尋濱　豐前

大廿五 [illegible]　持豐

的形濱　伊勢

風土記 景行天皇行幸濱邊歌曰　高遠

[illegible]

松田江濱長濱　越中

万十七 [illegible]　家持

万十七 [illegible]

松濱　[redacted]

大廿五 [illegible]　仝

景色濱　[redacted] 非地名平

大廿五 [illegible]　元真

舩木濱　丹波

大廿五 [illegible]　内大臣

舩瀬濱　播磨

万六 [illegible]　匡房

吹上濱　紀国海部郡

霞　鶯　猟　春月　鵬　夏月　菊　衡　霜　霰　雪　金村

松　みあ　鴫　鵜　簾　真砂　小石　舟　濱庇　藤袋　小野浦

後拾
郭ゝて吹あげのさゝ子人とゝ〳〵ふみ〳〵そうゝかゝ〳〵年　懐圓

新後拾
とき〳〵あまゝ八桜とそゝ物のふきあげのさゝ子たるあまゝ　家隆

久ゝ〳〵くもかゝとゝけて中つゝせふきねゝのさゝ月そさやらき　寂信

全上　吹上二名
吹飯濱

万十二
ときゝゝゝせふけひのさゝ子もかゝてあぶゝめちゝいとゝけあこそ　不知

吹子濱　豊前

夫廿九
秋のゝゝさゝもゝゝゝゝゝゝゝのふきものさゝ子なゝし　帥

吹越濱

夫廿九
ふきこゝのさゝ子ゝゝゝゝゝゝゝこゝめきこゝあるゝれ　不知

下濱　津国河邊郡

名所国書
八ゝゝゝこゝのさゝ子ゝゝゝゝゝゝゝ年　喬前

月
ゝけはきゝやゝこゝの松のゝゝゝゝこゝさゝ子のさゝよゝゝゝゝゝゝ年　行德

粉濱　津国住吉郡

万六
住のゝけはこゝのさゝ子のゝゝみあげもみゝて恐ゝてのゝゝゝゝゝゝゝ

夫十五 浜そへ入江のももちやのあしろ打もりよるあきらなし　躬恒

夫十五 我こゝろ八十氏人よあいもみて行るのきゝ方よひさもあるの形　不知

網兒濱　志摩

夫三十七 あまをちひろあこのもゝをやさしてゆみ命ハ志あれとそ　俊頼

明石濱　播磨

夫十五 月のくゝとろ〻のもゝとみをこせ出もの女なゝをけ物毎の月　順

夫十五 なゝもゝを八月ハなゝもよゝらさをこて行ゝしの者ゝゝし者　兼宗

夫十五 あのゝゝれなゝきあこの濱ゝるみめをゝ命めへきゝる　不知

葦田濱　備後葦田郡

夫十五 立ゝる行ゝゝの濱のもゝるゝゝきなゝゝとのゝゝなく　家明

此哥八条入道大相国ゝ右哥ゝゝゝ濱ゝゝゝ

万十二
[illegible]　不知

続拾
[illegible]　家隆

由井濱　相模鎌倉

田国
[illegible]　道興

雪高濱　佐渡羽茂郡

夫十五
[illegible]　為家

雪白濱　但馬

六帖
但馬なる雪のしるきみとりよりいとと人のとやとむ　不知

夫十五
[illegible]

夫十七
[illegible]　實朝

[illegible]　公朝

三津濱　津国西成郡

霞　殘雪　春月　青雨　翠　御禊　月　砧　霜　鴫　雪　雀

網　総貝　御幸　松原　浦　埼　湊　泊　江　神垣　上小竹葉野

万一
[illegible]　憶良

万一
大とものうらはたのみるまれ貝いへある妹をこそまてとそとや　身人部王

新拾　雲葉
大とものうらのまを松神さびてせとのあきかぜ　經信

箕面濱　津国

夫十五
みのおもてなるなるの波のよるひるそひのあもとそれ　不知

三津濱　伊勢

夫十六
[illegible]　長明

美曽師濱　伊勢

夫四二
[illegible]　公朝

見濱　津国

万七
住の江のいなるの海の塩かるをかもかつ[illegible]　人麻呂

三笠濱　安藝

[illegible]　實岑

三熊野濱　紀国

濱木綿　菅浦宮湯山神

正治後百首
五月雨のたまゝ[illegible]　範光

宮濱　[redacted]

夫木抄
[illegible]　元輔

白野濱　津国

名寄　夫詳
月[illegible]　不知

白良濱　伊勢

霞　月　鴫　雪　貝　松

夫木抄
[illegible]　能宣

白子濱　伊勢

夫木抄
月[illegible]　不知

志加濱　伊勢

齋宮寄合　未詳
[illegible]　仝

鹽合濱　伊勢

夫木抄
月[illegible]　長明

島濱　志摩カ

夫木抄
みけくの[illegible]　撰政

万葉集九巻　みけつ国志摩のあまなりしを子母まうして
よみしあるなりしを志摩なるべし

白濱　遠江カ

万十一
[illegible]　不知

十六夜
たちの山もこゝろうみゆゑ月てとあもしろ[illegible]
松のひゝきもさくなりいてなの[illegible]

○名所乘土

なつむしをとこ　ちろきさきよくろきとりむもかくろいとこ
をなりわらう

白ちゝはゝみのいろなるちゝはつとり　巻　四条

信濃濱　越中

百十七　しーのあけちゝはゝのちゝをとりてしーあきてをりてををつや　家持

夫十二　おーけらゝやーおゝの浦の杉原ゝ本方の麻衣ゝなくあら　光俊

澁谷濱　越中

百十九　しふ谷ゝまーてゝゆくゝ心浦より月あきてゝむ馬ゝをゝしめ　家持

白良濱　紀年事部

催馬楽　きのあのちゝゝの浦よりあゝかるゝもめのなきてこ　西行

山家　ゝのゝとるちゝゝけちゝのゝゝを貝ひろひやきゝもあゝゆゝこれ　仝

同　ちゝるけゝるちゝゝの浦つゝみのゝろゝよゝとゝ伝あゝふ月のしゝ波　仝

夫十七　ちゝのゝるゝよおゝのしちゝゝの浦なゝこゝゝるゝゝゆゝるゆゝの伝ゝし　寂念

志加濱　筑前

百四　ちゝをゝゝかいゝゝゝ走ゝゝゝゝみかをゝひてゝゝゝちゝのちゝをを　百代

廣田濱　津国

廣田哥合　人いゝさ秋ゝいゝゝゝ神坂やひろゝ行ちゝをゝるゝゝゝ　廣言

須磨濱　津国

夫下五　ちゝとゝゝよ都のゝゝやちゝのちゝゝゝをゝゝゝゝゝ　恵慶

住吉濱　津国

霞　花　夏月　萩　雁　月　菊　松　雇　貢　きゝこ　苔

浦　岸　野　江　岡　海　神　沖　里　田

新古　住ゝのちゝゝゝゝゝ

万十一 たゝみのうのうらのうらふくかぜに黄こゝろあきてうらこひめやも　人麻呂

夫十一 もゝよしの川の湊の村雨の過ぬるしるしなるかも　慈圓

誤字ようてゝつの名所とする歌とも

山家 ちゝの浦　いつこ浦かうらとつり舟ちゝのくきしたちの浦ようるのてそよう

名 たゝ浦　いせの海のなゝはまよりなよはせよりなよはせよりなよはせ

[illegible]　泰綱

小埜湊　伊勢

五月雨　御禊　鵜　松　月　芦　汐　舟　江

新千　[illegible]　為重

続後拾　[illegible]　不知

岡湊　筑前

五月雨　月　霧　雁　氷　鵜　水鳥　鷺

万七　[illegible]　仝

新拾　[illegible]

大十七　[illegible]　素暹

大廿五　月[illegible]　公朝

草菴　[illegible]　内大臣

頓阿

懸湊　丹後

新続古　[illegible]　国量

可保湊　出羽

大廿五　[illegible]　不知

加古湊　播磨

新後古　[illegible]　国豊

可家湊　賀岐カ

万五　[illegible]　不知

唐湊　筑前カ

懐中　未詳　[illegible]　仝

影湊　[illegible]

千首　[illegible]　為尹

与謝湊　丹後

新後拾　おくてとるよるのみるとはなたちみいまもあなむあきつしほうせ　後京極

袖湊　筑前那珂郡

蛍　名立　月　雁　氷　鴫　芦　蛍　旅泊　唐船

続現葉　いとくあるはとこてはもとうあつ　紅のはなとみてこそのこはる　国顕女

新後拾　波とあくそ侍のこるとのくきさくくくきそそ　拂わいなるまみる　忠宗

袖湊　肥前

次第五　かくるこのことそ侍のみるとときとせひとろこ一舟のとるくあ、　有家

奈古湊　越中

新続古　波くるくなるのみるとのくるせよ　入江のちとうひもてをあう　伏見院

難波湊　津国

千　しもうものなるよの侍のはのはのしとあくるこるとるるなくあう　成保

中湊　讃岐

万二　天地日月とともになるゆうむ神のみあるとつきそくる中の湊あ舟くけて我漕くれ、　人麻呂

猪名湊　津国

帰雁　名立　納涼　月　鹿　雁　霧　鴫　雁　汐　松　舟

海　野　川　原　武庫山

新後拾　風くもみよやみけあくむきなくとわかなのみをとよるるなくあ　顕仲

続後拾　あとうなくかなのみをとよ風くそそて陸奥のるをあけの月　俊恵

新勅撰　くるもくくむこのおくしうみみけハ舟名のくるとよ松やとあくむ　仙風

隠岐湊　隠岐

次第五　なくくくくけあきのくるとよ入舟のとくそこくなるあるハよ　後鳥羽院

於米湊　筑前平

神本平　名くくやおのの湊よあひき字とハあのあくしよなひきあひくり

久迩湊

未詳

かすもりのそるあささよみるくるのみなとをとをくをくをり　不知

山井湊　和泉

夫士五

やまの井はみなとをとりてゆく舟のあゆ侍も人のあり　神これ　光俊

的形湊　伊勢

百七

まとかくのみなとのたちをはしてやつはよりたてく屋ちつくる　不知

夫士五

人をもぬはるをそなるあまをとこのみかりのをとり侍るとて　知家

古布湊　伊賀

夫士五

人なのみこのみなとよりる侍ハ神をのしこそ　不知

安伎湊　豊前

続後拾

をるつをくをくあきのみなとハ風をちるをみちの舟のつくなるをり　紀伊

家集

立ーきりたちのみなとうみをしをやい秋はせきよ入めり　擔垣堀

由良湊　丹後與謝郡

新古

かちをくをくえゆくのをるをよる舟のなかりもちをめおきろ侍うせ　撰政

由良湊　紀国

霞　春月　帰雁　鶏　鹿　月　萩　霧　鶴　雪　舟　釣

蛙　玉　沖　埼　海　浦　紀路遠山

新続古

きのはやゆくのみををの好月みをををよ舟ニをくくしも　後松院

新古

をの山やまきのみをををよをををををををををををををみて一を　長方

続古

風ををくゆくの湊はタ一月をよりけ侍る月のをやをき　政村

三津湊　津国

花　青菊　芦　貝　舟　松　浦　濱　泊　江

夫士五

ゆくのをををけもををををををををををををを

三津湊　伊勢

新名所哥合　又いろみつの湊のうきまくらかりなる屋を　経顕

同　たゝせもやらぬ月のあてあのつもみつのうるとの松ゆふ　尊親

三原湊　淡路

集　都ゝとみやまとゝあ月ちもやとゝ月のうゝなちもうゝとも　為仲

白菅湊　遠江

新後拾　ふきあらふ風の仆りももゝまけのみをとゝうる舟人　俊定

又二紀行　旅人のゝ所のうゝけももゝまけのみをとゝやゝうゝ月ちあ　雅世

白輪湊　遠江

志留波磯同処平

夫子花集　延元四年の秋天皇のなくなりて陸奥ゝなりて三月許よりかゝりて

しろゝのみをとゝあゝ井あけゝもとゝあゝいゝゝゝかゝりしゝ

いゝ仏ゆをとゝのゝもゝゝとゝゆやうゝかゝゝゝ神のゝゝけしゝ波　宗良親王

○潟

石見潟　石見

月　鴫　藻　雲　蜑　舟　とま　高角山　領巾振岑

勅　いゝみのゝゝゝみをゝゝゝゝゝゝゝ波ゝゝゝゝゝゝゝ身は　不知

新千　かけてゝゝよ又いゝゝゝゝゝゝみのゝ牡蛎ゝゝ秋のしほのゝ　定家

伊勢雄潟　石見郡賀郡長濱村潟

千二　夫廿五　いゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ秋のいろしみゝゝ八　家隆

播磨潟　播磨

月　鹿　鴫　松　磯　波　明石　須磨

夫廿九　ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

集 白河のせきとうちハのそそいつまそこのつそうう邦　重之

鹿島潟　常陸

新和哥 かしまのこあきさのとりはにまて舟こあてて釣をきつる　時朝

挂潟　筑前

夫百五 秋のよはしほの月はうつうつ山ゐはつしみの中ちち　内大臣

香推潟　筑前

霞　菜　鶴　藻　霧　宮　渡

万六 いさこもかしらのそよそよの紅葉ちるつみて弁　旅人

続古 仲つはしまもふくしし香推そしのの名ゆ手よなしあり　為家

手結潟　越前

雁　とほ　蜑　旅枕　浦

万十四 なるあいうしほいちるうるうるうるもの　不知

高潟　播磨

後 そうまの名なかくそ不知よ名ゐ家あてて住ることを

そのはあてりてもみのハなかくのはあやはくもや志あるし　不知

難波潟　津国西成郡

霞　菜　若草　鶯　春月　春駒　帰雁　花　藤　鵑　蛍　菖蒲

夏月　青葉　納涼　荻　夕　月　雁　霧　砧　時雨　霜　冬草

鴫　鴨　味村　氷　雪　雀　松　藻　蜑　舟　鵜　石

芦　篠屋　小屋　和布　流木　貝　砂　漁火　澪標　海　塩

烟　浦　津　江　湊　沖　濱　都　寺　川　里　海

磯　宮　昆陽　三津濱　田蓑島　住吉

古 なにはつのうらのあしのかりねのあはれ　貫之

後 難波のこ刈つむあしの芦てのひとつ　兼輔

○名所拾五

万六 なにはづのこしのをとうよりみてか家なる時るまちとりもくの　老麻呂
万上 那ゝそかゝこきぬ舟のそろくよりときぬとゝをれるものも　不知
続詞花 沖つなせよりそふふゝ〻なる八うとほつきうけてなるのゝうなり　定頼

鳴海潟　尾張知多郡

霞　月　霧　砧　鴫　雪　氷　味村　秋沙　都鳥　雀　鶺
蜑　苫屋　うゝ貢　鯛　楸　藻　海の汐　磯　網　浦　濱
石　かち人　駒　上野　里　江　沖　海　呼續濱

新古 浦人のひもゆうもよなるみうゝ神よりあるなゝし　通光
続古 あるみうゝあゝうゝもるほのなゝ神をぬまるる　不知
玉 那ゝそかゝこをもをの陸ゝうゝ浦のゝるうかるゝひ人　忠成
月詣 なるみかゝいそゝのよゝるる陸のゝるみるをなるのも立ゝるゝれ　賢辰
玄玉 あるゝゝのゝゝるゝのゝてれり舟を陸のるやゝるゝ夕ゝ那　覺盛

海上潟　上総海上郡

霞　雁　秋沙　雀　沖津鳥　藻　蜑　舟　山

万七 ゝをゝ行うゝるゝみゝのゝきゝるゝゝきゝけて君ハあるもまを　不知
万十四 夏ゝを雲ゝをゝみかゝゝ神つゝをよ舟ハゝゝあもふおみゝゝり　仝

宇須波潟　長門

道行振 ゝゝぬいゝゝもゝゝをゝるゝをゝるゝをゝ君ゝのゝゝよ雲ゝゝて　負世

鶏足津潟　賀岐

流浪記 うゝゝゝゝゝゝ松ゝゝよゝ君ゝハゝゝゝのあゝゝもひゝゝゝゝゝみ　道範

黒牛潟　紀国

万九 ゝゝゝゝゝかゝゝゝゝ千のゝゝとゝのゝゝをひをゆゝハゝゝつま　不知
万九 ゝゝゝゝ味ゝゝゝみゝをゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝも　仝
永百 ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

松浦潟　肥前松浦郡

霞　帰雁　月　鹿　鶴　舟　雲　海　浦　山　川　道

百五
まつらかたさよ姫のるひもすそ山めぐりしやきりつゝ舟　憶良

五
タつゝこゑのしたちのほきりせハこゝろやゆくもむ　道云

新十
まつらかたこいつゝちぬるさゝ神もまつらも袖ぬれつゝ　隆信

吹飯潟　和泉

六十五
つゝつゝよワ世の秋やふけひゝて袖ゝ月ひこうゝ　行家

二見潟　伊勢

勅
我恋ハ月ゝ見ぬ夕ゝ霧ふゝ荻ゝ鶴ゝ松ゝ蛍ゝ浦ゝ山　家衡

六十五
ふゝみのゝつせのゝ萩しきゝの衣ゝもて夢ゝ見ぬ　定家

新後拾
二見ゝ月ゝ見ぬ夕ゝ霧ゝ荻ゝ鶴ゝ松ゝ蛍ゝ浦ゝ山　尊氏

藤潟　伊勢

百代
ひきてゝ山ゝ藤ゝ波ゝ浦ゝ松ゝ藤ゝ　実左大臣室

六十二
つせのゝ藤ゝ波ゝ浦ゝ松ゝ藤ゝ　寂念

葦屋潟　津国芦屋郡

続後拾
ほゝ山ゝ月ゝ見ぬ夕ゝ霧ゝ荻ゝ鶴ゝ松ゝ蛍ゝ浦ゝ山　国冬

朝香潟　伊勢カ

月　鶴　蛍　恋花

百上
ゆきてゝ山ゝ藤ゝ波ゝ浦ゝ松ゝ藤ゝ　不知

六十五
あさかゝけゝ月ゝ見ぬ夕ゝ霧ゝ荻ゝ鶴ゝ松ゝ蛍ゝ浦ゝ山　知家

熟人田潟　尾張

拾百　六十六
ほさきやあさかのうゝけ山ゝ　仲実

年魚市潟　尾張

夕立　月　霧　鴫　霜　雁　櫻田　智多浦

万七
あゆちかたにうかひしちくの浦よ船こぎ舟はよりてみる　不知
大十五
波の上よ夕立さきてあるちくのうらのうらもかくれみるかな　政時

明石潟　播磨明石郡

霞　帰雁　青葉　夏月　鹿　霧　鴫　鶴　蛍　舟　持縄

沖　濱　浦　江　渡　泊

新後拾
あかしうらにうかぶ雲くもまなくなれ秋の月のかけ　光俊
新後拾
あかしかた月のもりほやみをのむまのうちよりくもるくもる　俊成
続後拾
あかしうらあまたるやのうちもたいしそくとる秋のうら月　順徳院

阿須加潟　持磨

大十五
あすかかくあるみつくるかちんの一ふのたよりあるなるあり　頼氏

味鋺潟　賛岐

万十四
あちうまかくるくるはひしもひとくものうかのうけまきて　不知

淡路潟　淡路

鵬　月　鹿　時雨　冬月　鴨　秋沙　鶴　雁　沖　島　浦

島門　汐　舟　須磨　住吉

新後拾
あちちくてのちひはふきてやてなるとるかる舟人　不知
住吉詣
はちちかくるるみるるけてゆし舟のなりもちるあはのうへ郎　義詮

有千潟　筑前

万十三
あちちくはなくまあるゆもいへるる妹いるーみもも　不知

薩摩潟　薩摩

十
さつまうしゆのうーはよ我いのりとあやはいつけよやのーはうせ　康頼
大十五
ちつまかくせうのちやうのはうまのハかうこえてききよりうあちさて　公朝

清見潟　駿河

霞　春月　花　帰雁　藤　鵑　夏　秋風　月　鹿　雁　霧

紅葉　時雨　落葉　氷　冬月　鶴　雪　松　雑　旅人　舟　駒

汐　沖　岩　波　鐘　鵜　開　埼　浦　菅原　三保　不二

礒　山　波開寺

新古
きよみがせ月にうつまなきあまのとまやもしほのうへの　通光

新後拾
わたつみかくるるあいにあめふりぬよはのせきもり　賢季

玉
きよみがせうつるあいにあめふりぬよはのせきもり　後鳥羽院

玉三
はるかぜにたちくるかはのなみもしくもなきよるのあけぼの　冊後

夫四
きよみがせかすみたちこめあらしもやまぬはるのあけぼの　隆昭

象潟　出羽

月　雁　鴫　雪　神　蜑　草屋　紫扉　旅　ほ草

新古
さよふけぬるあまのいきのつゆやあるのうるやはるのくまぬみ　顕仲

玄三
うつしもしらぬこまもうわさにこそやうのうのうのうのうのうのうの　性我

夫十七
きさらぎのこやはるのとをそのはるくよりあるをたてるをたくし　小大進

三宅潟　下総印幡郡

万九
こしひかりのみやけの海よさしもうのうのうのうのうのうのうの　虫麻呂

三名部潟　紀国

明三　未詳
浦人やなみのうのうのうのうのうのうのうのうのうのうのうの　玄信

繪島潟　淡路

流浪記
みるきのうのうのうのうのうのうのうのうのうのうのうのうの　道範

語字よりて一の名所とせるの歌

音五
ものほ　ほひのまいるかうのうのうのうのうのうのうのうのうの

夫
おきのうのうのうのうのうのうのうのうのうのうのうのうの

○名所集五

東関紀行

○嶋

伊勢島　伊勢

霞　萩　秋風　月　霧　紅葉　霜　雪　鶴　貝　うしほ貝　三角柏

芦　蛍　藻　みを　網　狩使　一志浦　吉野原　海　紀海

新古
[illegible]　俊成

続後拾
[illegible]　後京極

続拾
[illegible]　政村

伊良虞島　三川

月　霧　忘貝　埼

五一
[illegible]　人麻呂

五一
[illegible]　不知

五一
[illegible]　麻續王

伊知遅島　近江カ

古事記
[illegible]

印南島　播磨

舟　河　海　浦　野

懐中未詳
[illegible]　不知

家島　播磨揖保郡

櫻　月　鳥　鶴　磯　蛍　なのそ

万十五
[illegible]　全

万四
[illegible]

天十七
[illegible]

生島　播磨赤穂郡

天十三
[illegible]　家隆

[illegible]　不知

祝島　周防玖珂郡

五十五
人もとをもやまとつまのみつまの
五十五
をのまくらはのり人をつまのみつまを代かをそつまの事をかな　秋庭

全

巖島　安藝佐伯郡

くもをもやまもはくしハなみのよをやなしのくるくるかな　持豊

石城島　伊豫宇和郡

夫廿三
いはの海をつたをくるハ我をまこやあふをかくをもの月をやし　不知

妹之島　紀伊海部郡

鵑　月　鴫　藻　海松　舟　とほひ　雀　磯　形見浦

勅
海をもくるくるもくるくるいるくるみなをくるくるをの　知家

続古今
方角のをくるくるくる

犬嶋　備前国邑久郡

清少納言記。うつくしきものゝ項目独ハ

枕草子春曙抄一ノ巻十三ヲ

かゝるものゝ名ハ姫のおとゝ

とていとをさなきれハこゝにおきれ

ゆくゝもちてゝじていぬ為ゝ汚

うゝせゝ　今ゝ　おもゝれハ

登久乃三島　志摩

百首　あのゝとゝはたゝゝのもゝかちゝくゝなのむひろきめゝみず　寂阿

床島　尾張

夫廿三　天なゝてひろゝめゝゝはゝまゝはゝるゝ月をいやゝきゝ郭ゝ　不知

戸島　備中

大業會哥集　天の原あけてゝゝゝをみゝゝくゝせゝは法ゝゝゝゝゝゝみそゝゝゝゝゝ　家經

鳥羽島　備中都宇郡

同　牧のゝゝゝゝゝゝ

出羽弁集
右近の内侍のすけのいとりなるを戸帳をむしんとて
そもとみむあとそるもあ　かそ
二一
そのそらと　みそそそきそひそそ　人ハ只なるあ郡

香島　津国

散木
かすゞなるこそよはそひそもの来ぬきこそかりそそ　俊頼

そもそそハあそひそそ　いきつそむ　れそもあのいみあと

笠縫島　笠結島　津国住吉郡一説東生郡

百二
新後拾
しそそのそそくれかさぬひの　黒人
そさゆひの　土御門院
夫百三
山ちよりみそしそそあ　中務卿宮
百十二
そのみけのほそのあきはそさそ　不知

鹿島　常陸

夫百四
かしまの　定家
夫百四
そのやそのそのひよ　後京極

鹿島　陸奥

王
つそそもそそもそこのひかそあるあふくあのはそ　順

鹿島　能登

百十七
かそあるようそあきそそそそ　舟の梶
百十六
そしまねのれのそあのそそみと　不知

河島　丹波

夫百五　大堂會奇集主基方
かそそそあやそあのあのそあるあのそそ　全

梶島　丹後

百九
梶のいそるそそてかそそあのそそ　国房

梶島　宇合

枯木島　卅後

未詳

[illegible]　顕朝

葛島　出雲

夫廿三

[illegible]　内大臣

幸荷島　播磨

五十六

[illegible]　赤人

夫廿三

[illegible]　顕季

加古島　播磨

霞　鶴　雀　松　岩　釣　舟　月　あころ　驛　渡

続古

[illegible]　印南野

五十

[illegible]　後鳥羽院

五十三

[illegible]　行能

[illegible]　人麻呂

神島　備中小田郡

続拾

建久九年大嘗會主基方御屏風備中国神島

神[illegible]　資實

柏島　備中淺口郡

大嘗會尋集

[illegible]　家經

笠間島　周防

夫廿三

[illegible]　祐挙

加太乃大島　周防

五十五

周防国玖珂郡麻里布浦行之時作歌

[illegible]　不知

夫廿三

[illegible]　家隆

雁島　長門

万六
[illegible]門なるおきつ浦奥まてもあるあきみ八みせもも　参議朝臣

九州道記
みるめの[illegible]なとなめもよふうしの海のこと　玄旨

鹿島　紀国

万九
みるめの浦はおみちそのかしまあるつるはなとそ立てむ　不知

金島　紀

盛衰記
金島のわへ木を削て
[illegible]て、[illegible]みてふるのそさくあきせまさくあるつる　維盛

掛島

千
[illegible]のそるよいたことくしらけしみの海もさくそ、岩字ミえ　俊頼

蓬島　尾張熱田

不二紀行
神垣もいかうふしきをるきよもきろしみの色てきちえて　雅世

覚不二記
[illegible]あ色をぬくそうけとつ[illegible]やよきろもるあくせむ　堯孝

蓬島　備前

嚴島詣記　備前国蓬島とふ処ニかりあ
[illegible]の字よもきしの日あ[illegible]ろ邪　貞世

橋小島　山城

源氏
[illegible]ハつるもつくしこのこ[illegible]舟をゆくへ[illegible]あ

橋島　大和

万二
[illegible]邪の[illegible]ハあるもさくの昌へとのみをり　不知

万七
[illegible]字ハ門[illegible]みさくあ[illegible]我下衣　仝

田蓑島　津国西成郡

鵑　月雨　夕立　御禊　月　雁　砧　菊　時雨　霜　霰　雪

崔　芦　浪　雨　蛍　島守　苫舘

続後拾
[illegible]衣[illegible]の一日[illegible]　太政大臣

新後拾
天の下つ[illegible]　經国

風
[illegible]衣[illegible]の[illegible]　重茂

○名所某五

多枯浦島　陸奥

あまのこたい　不知

立島　越中

そつかくこと　仝

多久島　出雲島根郡

如　仝

人しれぬ　通具

田島　周防

大岩の　貞世

鷹島　紀国

我さりて　高弁

玉出島　紀国海部郡

霞　春曙　春月　花　鵑　夏　芒　月　鶴　雪　松　藻

雀　御幸　舟　蛍　霞　江　山　宮　神　住江　若浦　岸　磯

人と　黒主

為氏

為家

隆信

玉島　肥前

人こ　都帥老

多波禮島　肥後

名　朝綱

不知

袖島　紀国

夫二
かゝる衣をうとの仏の神しまよりたるのをみハたちをしかる
夫廿三
しほとうの仏神しまをうれおもふる舟も人めをしし

成茂
後九条左大臣

津島　尾張

つせ人いひをしをうつ月よりうゐ川ゆハいろみゆのゝ

長明

津輕島　出羽

六帖
ゆうゝをもいつのるとゝ見ゆをいかをもるつろ仏月のなをゝ見ハ

不知

露島　出羽

夫廿三
仏をうよ月をもゆ月をゝ月をゝ月をゝ

室八島　下野

霞　青雨　歎　月　霧　時雨　鴈　烟

十　みそぎするむろのやしまとみるこせはなかるはかのうらのなみ　行頼

新古　かりそめにすみかとしるしむろのやしまのつまのあまのいほり　清輔

浦初島　津国河邊郡

霞　月　霧　鴈　雪　松　沖　汐　瀬

新十　ゆのけふりそなみとうらるれはうらなみのうきてたちのぼる　国冬

玉　つの國のうらはせきつかたちかはもあまとしきやなそ　雅成親王

浮島　伊勢神宮雜例集浮島御厨

集　いそやうこらのうきしまとあるはもとてのみも世をなをいとし　躬恒

浮島　駿河

建保百首　うきしまとたのめしかはもかつまもやあはれをかけるはのひとをと　兵衛

浮島　陸奥

霞　花　紅葉　鴈　松　塩竈

新古　をしなへのよくはうきしまのうきてあめのはらせしをり　山上王

続十　みちのくはせをうきしまのうらはとをせきこゆるきのつをさをさるむ　小町

浦島　丹後与謝郡

霞　夏月　うゝ貝　松　蛍

続古　みそぎはなくやしかるはあのはらはるもむ考のはらはの　太上天皇

新拾　をきしもあけのうしのあけのうらはけてもあるはのみ　高宗

歌島　備後御調郡歌島之字形乃名所

散木　うこのしまきしのかよはおとつまてあふはのうちこそきこゆる　俊頼

浦初島　紀国

春月　霧　鴈　雪　松

新続古 紀のうみやおきつ波もよせてこそ月のこがらしの音ばかりなれ　重光

現六 いつもかはらぬ色ぞしるしの浦の松風ばかりなれ　知家

宇土小島　肥後

夫廿三 なにはがたみちのくにこそなきさなれあまの釣舟　開白

空穂島　薩摩

未詳 さつまのくにえのこ郡のうつほしまやつくしのうちとうたむ　不知

宇留萬島　迂陵国

十 くるまのしたのくさまもあれきてこの人のうのうをきくも

たてもあむちとふこころうてこそあなよつくしの

あまのうらふるまのしたの人なるをもとめもとめて

夫廿六 よそにきくこころの時のこころかなしびこそあれ　公任

野島　淡路

霞　帰雁　蛍　夏草　百合　蛍　月　時村　雀　蛇　藻　蟹　家隆

夫十七 中のしまのしのはのうらにたちこめるなかりけり　信實

夫廿六 ふりにしこころのまもるみそぎなるのはらをとをるかりの人　後嵯峨院

沖小島　伊豆

新後廿 さざなみちをこそくまふしろのはやおきのかしまの波のよるまも　實朝

大島　相模

北国紀行 ゆくへもかくとこそきんけちしまのやまもきこえきみくるのかり　竟恵

大島　播磨

堀百 よもさこのうちしまあらしあらをしたかさこ舟いまそうつりて　隆源

大島　備前

荻　虫　松　舟　神　汐　蛍

夫廿六 たしまやせとのしまのあのなこそ舟のうちとうあみ巡まきる　恵慶

大島　備中浅口郡

磯駅壹島渓路
古事記
押照やなかふの峰ゆ
出立て我見くれば淡路
ち嶋あのころしまのうら
さのしまひとつ申

大宰會集

同

ちしまのうらのゆくへ天つかぜ　不知

あをしまのまつのえだのたをやめ　經光

大島　周防

風　松　藻　灘　鳴門　舟　ことの濱

後

人ちまたあるよふなるのあまとまをかりけるころ　不知

夫木三

ひかりてはくもるこのちしまのてらくしのちかひ　為家

奥津借島　長門

万六

ちはやぶるかみのいかりしなかりせは　對馬朝臣

奥津島　紀国

万七

さひかりのかみのいかりしなかりせは　赤人

万八

おきつしまつねにくもりてあけもせず　家持

沖小島　薩摩

千

さつまなるこしまのこしまよ　康頼

隠岐島　隠岐

増鏡

ひとりあきかぜふきしかたのこしまの　後鳥羽院

大島　筑前

集　大宰任まうこと

たしまのやまとなでしこ舟のかちなよりあつくちりくはめもてそり　高遠

筑紫道記

さしおのそこにもすそをひてたしまの　宗祇

揚枝島　山城

夫木三

淀川ややすらしろ波まさもかるたしまとなりしむ　不知

大和島　大和

万三

名名しるあのあの浦つたみちつたふるかめ　全

万三

天さかるひなのさかりのたしまのうら　人麻呂

八十島神国
新葉
住吉の行宮まゝ八十島の
名のゝこゝをつくりて奉る
とつゝむとて
ゝゝゝ

離島　陸奥

霞　柳　藤　躑花　鵑　螢　撫子　月　虫　菊　霰　雪

松　ちゝの　撫夏　蛍　漁火　篝火　塩焼　近塩竈

後拾　さてもはまぢかきかたのみるめもいとゝうらめしくあたゆるうの邪　清蔭

勅　うの部のさゝくまもいみちのくにきけしのの陸奥ゝ　不知

続後拾　あけくれはあまきのしのをなるあつ部とひきわたのみをあ　信明

みちのくにはなきのしのいはゝあつの陸奥中ゝ名所にかれ　為家

真鍋島　備中小田郡

山家　なるへしのあまの京人りてつみのもあきあらて又

しきたゝ少あてあきあむもひきて

玉島　壹岐

大廿三　まのつとうあもくこうとふあきくにはつみないそつゝ西行

ああはるゝのしのよあのもゝしのもふるかゝゝか　不知

藤島　越前

拾玉　奥隆荘をゆるはるはてこあくゝあかゝゝとゝ岩ゝゝゝ慈圓

ゝああのゝ松あまゝ岩しのの久しき年ゝつまかくゝの　實朝

藤戸島　備中都宇郡

大章會寄集　長和五年　壬寅　方

ゝくゝつあものゝけうゝゝゝ代はふちゝのしのゝ陸のあゝゝは　為政

伏猪島　[redacted]

廿三　なゝゝゝもみゝゝのゝもゝふもゝのしのゝ秋のゝの月　衣笠内大臣

木ノ島　山城

歌木　ゝのゝゝはゝこのしのゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　俊頼

兒島　備前兒島郡

霞　花　月　霰　砧　衡　雪　雲　舟　椒　松　濱庇

○名所部五

[illegible]　金村
[illegible]　雅有

衣島

[illegible]　[illegible]

夷島　山城

[illegible]　[illegible]

江島　相模　東海道記

[illegible]　不知

蝦夷千島　陸奥

花月　壷碑　えぞ窟　津經　弓　毒矢　旅泊

[illegible]　公朝
[illegible]　慈圓

豊島　津国豊島郡

[illegible]　不知

阿倍島　津国或駿河　一説筑前

衝　雪　鶏　雀　岩　山　磯

[illegible]　赤人

安濃島　伊勢

[illegible]　不知

安多登島　安芸　道行振

[illegible]　貞也

粟島　周防カ

周防国玖珂郡麻里布浦行々時作歌八首

[illegible]　不知

同 あかしのあまどとあの女時よあまやをつもりてあこひてくる　仝

淡路島　淡路

霞　花　鵲　孟　月　雁　霧　鹿　時雨　鴨　秋沙鳥

雪　雲　雀　松　烟　舟　鳴戸　浦　潟　追門

住吉　浪速　藤代　須磨

新古 ぬしなくあいちのしのの名のよかくはとおくるくしをも　慈圓

拾 あいそしみたるのうくいてあるいとふるのふる人　内大臣

続古 ほちちしみ陸りてまる山のもとのあてるてはのさえらくるかも　忠良

玉 あまちしをせものしのうをさむのうしつるふるもをもしし　經盛

栗島　阿波

百三 むこの浦をこきくむ小舟あいしのとをうめまみつくもしき小舟　赤人

百七 あいしのこをこをくをくひとあのへくもあのくなみつきこさをくく　不知

栗ノ小島　阿波 周防カ

五九 くくつくくよいけの海田をこきくをもてあつけちしのくくもてほあくく　人麻呂

小豆島　讃岐

日本紀 淡海海ゐるふくをあいあき海ゐ二をい写をあ　たくくれあくちしを備をを婦とおみくくとの

阿陪島　筑前

天廿五 かくしのくくタきくくくれこをくくをくくあくのしのくくく

小竹島　石見

霞　春駒　月　鶏　雉　磯

続後拾
ゆくせのあをそらうつしてさゝ〻しのめのいそそはしるまもしきる風　為世

作氣都島　阿波

古事記
出てるやなかの塩路出そて紅をれハ栗栖のうら海あちはきの一ねもみまをけつゝ一ねも

狭岑島　讃岐

百二
きををのしねハあ月ゝとなをゝ八さゝの浦のあをそよつ海てゝるゝ　人麿

夫ヒ三
夕されハさゝみひの一ねよあくゝるゝあ〻いそ乃ゝよ波やゝ〻〻弁　顕盛

吉備小島　備前

百八
やゝとちのきしのこゝねとるてつゝハつくしのこゝ一ねおほえむゝも　旅人

菊島　甲斐八代郡

四国
さきゝ月ゝ月のまゝせこゝやゝて秋ゝなをそゝもきくゝ海ゝ風　道興

壹岐島　壹岐

百十九
ゝゝきくゝ家ゝゝかつるまきの一ねもきゝもありひゝゝつも　六鯖

夫十七
まゝゝの一ねまきゝハ小牟の三年少ゝゝ八ほゝも松人ゝゝの代や　衣笠内大臣

由乃古島

集
まのゝゝねとゝ処ゝゝねのゝみゝゝゝて

ゝゝゝのゝゝゝ

三島　伊豆加茂郡

神系帯　みかものかみとかけ神のかゝときもひやうゝとた

三島　近江カ

古事記　こゝのえのみやゝそちゝまみほとのかんきつ

三津小島　陸奥

月蛍霰雹　旅人

続古　人ゝのいとあもさゝよかきふみつのこゝのの枝はくゝと　順徳院

同　字ゝちゝさゝつのこゝのほゝはるかとしゝ　太上天皇

都島　陸奥

夫廿三　ゝちゝとゝとゝゝおきのゝとゝて都ゝのゝとゝ雪ゝゝ　公朝

宮島　安藝

ゝゝゝ

ゝゝゝ

同 [illegible]

海松目島　壹岐　夫廿三
あまの刈みるめのしほゝ[illegible]　不知

美智島　夫廿三
おいの波よせくるみちのくに　高遠

島　大和　万五
[illegible]　宣

夫廿一
いまもかもしくまとり[illegible]　知家

志太浮島　常陸鹿島郡　夫廿三
あきさかるうらみをとゝ[illegible]　頼政

志波久島　備中　山家
[illegible]

篠島　紀国　万代
[illegible]　西行

鹿島　筑前
月浦濱山神博多　夫廿三
都人[illegible]　永久百首
かゝる人いとゝ[illegible]　重之

繪島　淡路
霞櫻鶯月霧紅葉時雨衡雪松鷗舟　俊頼
旅泊磯潟浦埼里湊山明石若浦淡路野釣　玉
かてきてとゝ[illegible]　月詣
[illegible]　惟方
[illegible]　廣言

姫島　津国河邊郡

続古今
みるこゝろ　中務卿親王

大廿三
ひめしまや　實朝

百二
妹こゝろ　不知

琵琶島　尾張

横葉集
よしのゝとの　貝選

日間島　備中　窪屋郡

大堂會寄
　　經衡

曳島　長門

散木
　　俊頼

火焼島

求女島　津国求女家邊カ

大廿三
　　不知

須我島　伊勢

山家集
　　好忠

先輩名所と定
　　西行

名寄
　　

堀百
　　

懷中
　　

勅
　　

夫
　　

万
　　

集
　　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan